

環境経済部

環境政策課

生活環境課

農林課

商工振興課

観光まちづくり推進課

1 環境施策推進事業

あきる野市環境基本計画に基づく環境施策の推進や市民及び市内事業所への環境対策の普及啓発事業を実施した。

(1) あきる野市環境審議会の運営

環境政策にかかる計画、報告書等について審議する。今年度は、諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(2) あきる野市都市環境審議会の運営

都市環境に重大な影響を及ぼすと考えられる案件を審議する。今年度は、諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(3) あきる野市環境委員会の運営

ア あきる野市環境基本計画に掲げる事業の進捗状況の点検評価や市、市民及び事業者の協働による取組の企画・推進を行った。

開催日	内容
平成31年 4月15日	1 令和元(平成31)年度活動スケジュールについて 2 あきる野環境フェスティバル当日の役割分担について
令和元年 5月11日	あきる野環境フェスティバル(環境コーナー)参加 1 グリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布 2 地球温暖化についての展示 3 緑の募金の呼びかけ
7月 3日	1 環境基本計画施策進捗状況の点検評価方法について 2 点検評価作業についての打ち合わせ
9月 6日	1 環境基本計画施策進捗状況の点検評価結果についての検討 2 平成30年度環境白書の掲載内容について
10月 8日	「知る」活動 東京たま広域資源循環組合施設の見学
10月28日	1 第五期委員の委嘱 2 環境委員会の活動について
12月11日	1 環境に関する各種計画についての勉強会 2 環境基本計画の見直しと地球温暖化地域推進計画の改定に伴う市民アンケート調査の実施についての検討

イ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
環境白書作成業務	環境白書の作成支援	935,000

(4) 港区環境交流事業の実施

あきる野市と港区の子どもたちが、互いの異なる自然環境について理解を深めるため、両自治体の交互開催で交流会を行っている。今年度は、港区にて、エコ・クッキング体験と養蜂の見学を行った。

開催日	内容	会場
令和元年 8月 1日	「エコ・クッキング体験と蜂の巣見学」 参加者 1 あきる野市15人(小学3、4年生) 2 港区 15人(小学3、4年生)	東京ガス新宿ショールーム及びTBS放送センター「赤坂みつばちあ」

(5) グリーンカーテン普及事業の実施

省エネ対策や夏の節電対策として効果のあるグリーンカーテンの普及啓発を行った。

ア ゴーヤ苗の市民配布

あきる野環境フェスティバル会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテン講習

会の参加者及び環境啓発コーナーで実施した無料配布に訪れた来場者に対し、ゴーヤの苗を配布した。

配 布 日	内 容
令和元年 5月11日	あきる野環境フェスティバル（環境コーナー） 1 ゴーヤ苗の配布 750ポット（1人3ポット、250人） あきる野環境フェスティバル（グリーンカーテン講習会） 2 ゴーヤ苗の配布 57ポット（1人3ポット、19人）

イ グリーンカーテン講習会の実施

あきる野環境フェスティバル会場内において、環境委員会と共同で、グリーンカーテンの育て方の講習会を行った。

開 催 日	内 容
令和元年 5月11日	グリーンカーテンを上手につくるコツを経験談から学ぶ講習会 参加者 19人

ウ 公共施設でのグリーンカーテンの実施

子どもたちをはじめ市民への普及啓発のため、五日市出張所、二宮考古館、小中学校等にゴーヤの苗・種を配布し、グリーンカーテンの実施を促進した。

エ グリーンカーテン写真募集の実施

市民及び市内事業者への普及啓発の一環として、グリーンカーテンの写真募集を実施した。市民から提供された写真は、市ホームページ及び市役所1階コミュニティホールで展示した。
グリーンカーテン写真募集 応募件数 4件

(6) エコドライブの推進

安全運転とともに、二酸化炭素排出量の少ない運転となるエコドライブの普及事業を実施した。

ア 「わたしのエコドライブ宣言」の実施

「わたしのエコドライブ宣言」の参加者に、車両貼付用エコドライブ啓発マグネットシートを配布するとともに、既にエコドライブ宣言をした方のマグネットシート貼付写真を市ホームページに掲載し、「エコドライブの輪」の拡大に努めた。

参加者数 8人

イ 普及啓発の取組

エコドライブの普及のため、庁用自動車にエコドライブ啓発ステッカーの貼付を行うとともに、市職員が市民の模範となるよう、給油時の記録による庁用自動車の燃費把握を行った。

(7) 小さな子どものおさんぽ会の実施

小さな子どもたちに、当市の恵まれた自然とじっくり向き合う機会を提供し、当市の自然環境の担い手となる人材を育成するため、環境委員会の下部組織である「森のようちえん部会」の主催により、未就学児とその保護者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」やこれまでの参加者を対象とした「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）を実施した。

ア 「小さな子どものおさんぽ会」の実施

開 催 日	場 所	参 加 者 数
平成31年 4月21日	鯉川	10組26人
令和元年 5月19日	大澄山	10組24人
6月23日	高瀬耕地	10組28人
7月15日	草花公園水路	9組25人
9月29日	瀬戸岡歴史環境保全地域	6組16人
11月23日	弁天山の田んぼ	4組10人

イ 「小さな子どものおさんぽ会」（特別企画）の実施

開 催 日	場 所	参 加 者 数
令和元年 8月25日	小峰公園	9組26人
令和2年 2月 2日	小宮ふるさと自然体験学校	10組29人

(8) あきる野環境フェスティバルの実施

環境保全の様々な取組の紹介や体験を通じて、来場者が環境に優しいライフスタイルを実践するとともに、自然との共生などを考える契機となるようなイベントとして、あきる野環境フェスティバル運営委員会との共催により、「あきる野環境フェスティバル2019」を実施した。

ア 開催日 令和元年5月11日

イ 会場 都立秋留台公園

ウ 入場数 2,800人(推定)

エ 内容

- (ア) 環境コーナー 出展数 18団体
- (イ) 飲食コーナー 出店数 7店
- (ウ) ステージ 出演数 5団体
- (エ) フリーマーケット 出店数 65店
- (オ) リサイクル品(家具等)再利用コーナー無料抽選会 出品数 29点
- (カ) 配布・講習会コーナー
 - a 廃食油石けんの配布 1,410個配布
 - b ゴーヤ苗の配布 807ポット配布
(配布のみ750ポット、グリーンカーテン講習会57ポット)
 - c 生ごみ処理堆肥化講習会 14人参加
 - d グリーンカーテン講習会 19人参加

2 ふるさとの緑地に関する事業

豊かな緑を確保するとともに、良好な緑地環境を維持するため、あきる野市緑地保全審議会の運営、保存緑地の管理、緑化指導等を行った。

(1) あきる野市緑地保全審議会の運営

緑の保全と緑化の推進に寄与する保存緑地の指定に関し、審議する。今年度は、諮問案件がなかったため、開催しなかった。

(2) 保存緑地制度の運用

保存緑地制度の運用により、市内の良好な緑の確保に努めた。

ア 保存緑地の管理

市の管理する保存緑地について、業務委託等により、剪定、整理伐採等を行い、適正な状態を維持した。

件 名	内 容	委 託 料 (円)
保存緑地管理業務	剪定、整理伐採及び補修工事 6件	753,948

イ 保存緑地に対する補助金の交付

保存緑地に指定された樹林地及び屋敷林の管理に対する補助金と、樹木の枯死等を防止するための経費に対する補助金を交付した。

件 名	内 容	補 助 金 額 (円)
保存緑地補助金(樹林地)	3か所 7,677.4m ²	155,914
保存緑地補助金(屋敷林)	1件	10,000

樹木管理費補助金	1件	50,400
----------	----	--------

(3) 緑化の指導等

ア ふるさとの緑地保全条例に基づく指導

500㎡以上の面積の敷地における建築物、工作物等の設置や宅地造成その他土地の区画形質の変更の行為に対し緑化の指導を行い、届出書を受理した。

(ア) 緑化計画書の届出 8件

(イ) 宅地造成等に関する届出 11件

イ 工場立地法の届出

工場立地法による特定工場の新設や増設などに伴い、工場立地法及び工場立地法地域準則条例に基づき、緑地の確保等の指導を行い、届出書を受理などを行う。

特定工場変更届出 1件

(4) 横沢入里山保全事業

里山保全地域に指定されている横沢入地区の管理運営事業を実施した。

ア 横沢入里山保全地域運営協議会への出席

ボランティア、地域住民、農林業団体、東京都、市等で構成される協議会に参画し、管理運営に必要な協議を行った。

開催日	内容
令和元年 5月30日	1 平成30年度活動実績及び令和元年度活動計画 2 アライグマ被害対策について 3 ホタル対応について 4 東京都環境公社の業務について 5 樹林地管理について 6 プラスチックコンテナの設置によるトンボ・水性昆虫類増殖の取組

イ 拠点施設等の管理

東京都からの委託により、横沢入地区の拠点施設等の管理を実施した。

ウ 業務委託

件名	内容	委託料(円)
里山保全地域管理業務	1 利用者や自然環境の状況等の確認のための保守巡回 2 草刈・不法投棄物・一般ゴミ回収などの保守管理	2,106,197
拠点施設管理・清掃等業務	1 拠点施設のトイレの開錠及び施錠等 2 施設内のトイレの清掃 3 施設内の清掃	921,110
浄化槽保守点検業務	1 浄化槽の維持管理 2 浄化槽の汚泥汲取り及び清掃	82,368
支障木伐採等業務	1 地区内の支障樹木、枝等の剪定及び伐採 2 拠点施設周辺防草処理	240,240

3 生物多様性保全事業

市内の自然環境の保全と活用を図るに当たり、生物多様性あきる野戦略に基づき、生態系の保全のため、あきる野市生きもの会議を運営するとともに、外来生物対策等を実施した。

(1) あきる野市生きもの会議の運営

生物多様性あきる野戦略の推進のため、市内に生息し、又は生育する希少生物の保全方策等の検討を行った。

開 催 日	内 容
令和元年 7月29日	1 あきる野市版レッドリスト（植物）作成の進捗状況について 2 次に作成するレッドリストについて

(2) あきる野市版レッドリストの作成

生きもの会議の下部組織として植物部会及び鳥類部会を設置し、あきる野市版レッドリスト原案の検討を行った。

ア 植物部会

開 催 日	内 容
令和元年 6月18日	1 あきる野市版レッドリストの作成について 2 座長の選出について 3 あきる野市版レッドリスト（植物）原案の作成について

イ 鳥類部会

開 催 日	内 容
令和元年10月21日	1 座長の選出について 2 あきる野市版レッドリスト（鳥類）原案の作成について
11月25日	1 あきる野市版レッドリスト（鳥類）原案ランクの作成 2 あきる野市版レッドリスト（鳥類）の公開用資料について

(3) あきる野市自然環境調査の実施

生きもの会議の下部組織として自然環境調査部会を組織し、各班において自然環境調査を行うとともに、保全に関する検討を行った。

ア あきる野市自然環境調査部会の運営

開 催 日	内 容
平成31年 4月22日	1 平成30年度活動報告及び決算について 2 平成31年度活動計画及び予算について
令和元年 8月27日	1 あきる野市環境委員会委員の推薦について 2 会議の開催日時について
令和2年 3月 2日	1 平成31年度の活動報告及び決算の作成について 2 令和2年度の活動計画及び予算の作成について

イ 業務委託

自然環境調査業務委託料 574,000円

(4) 外来生物対策の実施

生態系に被害を与えている外来種（アライグマ、ハクビシン、オオキンケイギク、オオブタクサ、クビアカツヤカミキリ）について、対策を実施した。

ア アライグマ及びハクビシン対策

あきる野市自然環境調査部会、森林レンジャーあきる野の調査結果及び市民による目撃情報を基に生息場所を特定し、市民及び地権者等の協力の下、市内全域で捕獲を行った。

実 施 日	内 容
平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	1 実施箇所等 わな設置箇所 24地区 80か所 その他捕獲 6地区 6か所 2 捕獲実績 (1) アライグマ 58頭 (2) ハクビシン 16頭

イ オオキンケイギク及びオオブタクサの対策

市民参加の除草イベント「外来植物除去作戦」を実施した。

種 別	実 施 日	参 加 者 数 (人)
オオキンケイギク	令和元年6月 1日	15
オオブタクサ	令和元年8月24日	26

ウ クビアカツヤカミキリの対策

市職員による公共施設の調査結果及び市民による目撃情報等を基に寄生場所を特定し、成虫の捕殺及び幼虫の駆除を行った。

実 施 日	内 容
平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	木の本数 1 新たに確認した寄生木 37本 2 市の所管施設等における伐採本数 8本

4 地球温暖化対策事業

あきる野市地球温暖化対策地域推進計画及びあきる野市第四次地球温暖化防止対策実行計画に基づく取組を推進した。

(1) 温室効果ガス排出量等の集計

ア 第四次地球温暖化防止対策実行計画に基づき、市施設の光熱水及び冷媒封入設備の状況、用紙購入量等の管理を行い、温室効果ガスの排出抑制を推進した。

イ 業務委託

件 名	内 容	委 託 料 (円)
地球温暖化防止対策進行管理集計業務	温室効果ガスの総排出量その他環境負荷及び計画の目標達成の状況などの点検 1 本年度実績の調査 2 前年度実績値の全体集計 3 前年度課・施設別点検報告	979,000

(2) うちエコ診断の実施

家庭における省エネの取組を支援するため、参加者の家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専門の診断士が具体的な省エネ方法を提案する、うちエコ診断を実施した。

ア うちエコ診断の実施

開 催 日	内 容	参 加 者 数 (組)
令和元年12月21日 23日	1 うちエコ診断の実施 2 事後調査票のまとめ	5

イ 業務委託

うちエコ診断業務委託料 49,500円

(3) 省エネ推進の取組

省エネモニターに登録している市民の家庭のデータを基にした二酸化炭素排出量のほか、省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組などを市ホームページ等で紹介し、市民の省エネに向けた意識啓発を図った。

ア 省エネモニターの推進

省エネモニターに登録し、データを提供していただいた市民の家庭(58世帯)について、月々の二酸化炭素排出量を計算したグラフ等を作成し、各家庭に送付するとともに、登録世帯の二酸化炭素排出量、各エネルギー使用量の平均値などを算出し、省エネモニターの方が実施している「私のひと工夫」と併せて、市ホームページにより市民へ周知した。

イ 省エネ型生活10か条、環境家計簿の取組の推進

省エネの代表的な取組を示す「省エネ型生活10か条」やエネルギー消費量を入力することで、各家庭の二酸化炭素排出量を知ることができる「環境家計簿」の取組を市ホームページ等により周知した。

1 郷土の恵みの森づくり

郷土の恵みの森構想及び生物多様性地域連携保全活動計画に基づく地域との協働の森づくりとして、町内会・自治会等が主体となり取り組んでいる昔道や尾根道の補修、景観の整備等を行う郷土の恵みの森づくり事業に対して交付金を交付した。今年度は、15の町内会・自治会等により23か所で事業が実施された。

(1) 昔道・尾根道補修等事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	距離 (k m)	階段 (m)	標識 (か所)	金 額 (円)
深沢自治会	大カシ・堀田尾根道整備事業	10	3.8	30	0	126,280
	大杉への探索路整備事業	7	0.6	50	0	50,000
自然を昔に戻す会	日向峰道補修等事業	10	1.5	0	0	50,000
養沢自治会	サルギ尾根登山道補修事業	10	3.0	0	0	92,400
三内自治会	天竺山周辺散策道整備事業	10	1.2	150	3	98,160
高尾自治会	高尾神社周辺尾根道整備事業	8	1.2	0	0	50,000
菅生町内会	菅生南尾根周遊道整備事業	9	4.0	0	0	77,600
	菅生北尾根周遊道整備事業	10	3.8	0	0	73,720
合 計		—	19.1	230	3	618,160

(2) 景観整備事業

町内会・自治会等	内 容	期間 (年目)	金 額(円)
深沢自治会	深沢川周辺景観整備事業	10	150,000
	南沢地区景観整備事業	10	150,000
軍道自治会	軍道地区石原沢景観整備事業	10	150,000
	軍道地区まがめひろば景観整備事業	7	50,000
乙津自治会	乙津地内景観整備事業	9	150,000
落合自治会	加茂原周辺景観整備事業	9	150,000
青木平自治会	西青木平橋周辺景観整備事業	9	150,000
寺岡自治会	二反坂周辺景観整備事業	9	150,000
山下自治会	堂沢周辺景観整備事業	9	150,000
小机自治会	まいまい坂周辺景観整備事業	9	150,000
網代自治会	弁天山公園周辺景観整備事業	6	150,000
	長岳尾根周辺景観整備事業	5	300,000
自然を昔に戻す会	日向峰地内景観整備事業	5	100,000
北郷いさぐり会	北郷いさぐり地区景観整備事業	4	300,000
三内自治会	天竺山山頂周辺景観整備事業	1	100,000
合 計		—	2,350,000

(3) イベントの実施・参加等

ア GTF (グレータートウキョウフェスティバル) グリーンチャレンジデー

令和元年10月5日、6日に新宿御苑で開催された「GTFグリーンチャレンジデー2019」に出展し、郷土の恵みの森づくり事業やあきる野市の多様な自然環境をPRした。

イ 環境学習

都立五日市高等学校総合学習「地球環境」講演

(ア) 実施日 平成31年4月17日

(イ) 場 所 都立五日市高等学校 視聴覚室

(ウ) 内 容 都立五日市高等学校2年生の総合学習「地球環境」の一環で、健全な森づくり、森の役割などについて、森林レンジャーあきる野が講演を行った。

(エ) 参加者 都立五日市高校2年生 109人

(4) その他の事業

令和元年5月11日に開催したあきる野環境フェスティバル2019において、森林レンジャーあきる野が調査を進めている市内の動植物の写真展示や多様な自然環境のPRを行った。

2 森林レンジャーあきる野

(1) 森林レンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想に基づく森づくりをより具体的に進めるため、平成22年5月に専門知識を持つ4人で組織する「森林レンジャーあきる野」を設置した。平成29年度からは、森林レンジャーあきる野の1人がこれまでの経験と知識、技術を活かす場として、小宮ふるさと自然体験学校の校長に就任したため、現在は3人で活動を行っている。

森林レンジャーあきる野は、町内会・自治会等が行う昔道や尾根道の補修、景観の整備等を地域と協働で実施している。また、登山道や山林地帯を巡視し、整備・補修するとともに、市内に生息する動植物の調査、滝や沢、巨木などの地域資源の掘り起こしなども行っている。さらに、地域の森づくりに関連した自然環境体験イベントの開催など、森とその周辺にある地域資源の持つ魅力を市内外に向けて発信している。

(2) 活動状況

実施日	内 容	参加者数
平成31年 4月 7日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	16
4月14日	木こり講座	12
4月15日	増戸小学校4年生校外学習(事前)	84
4月17日	都立五日市高等学校総合学習「地球環境」講演	109
4月20日	深沢川周辺景観整備事業(深沢地区)	4
4月23日	五日市小学校4年生校外学習	94
令和元年 5月 5日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	25
5月11日	あきる野環境フェスティバル2019	—
5月12日	木こり講座	7
5月25日	加茂原周辺景観整備事業(落合地区)	12
6月 2日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	15
6月 6日	屋城小学校3年生校外学習	51
6月12日	前田小学校3年生校外学習	61
6月27日	農と生態系を守り隊講演	21
7月 6日	加茂原周辺景観整備事業(落合地区)	4
7月 7日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	14
7月10日	シュタイナー学園5年生校外学習	15
7月20日	木こり講座	8
7月20日	深沢川周辺景観整備事業(深沢地区)	3
8月 3日	木こり講座	7
8月22日	あきる野市新任教職員研修	31
9月 1日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	16
9月 7日	菅生大沢地区意見交換会	14
9月 8日	木こり講座	4
9月 8日	加茂原周辺景観整備事業(落合地区)	5

9月12日	草花小学校3年生校外学習	135
9月14日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	10
9月19日	西秋留小学校3年生校外学習	68
9月26日	多西小学校3年生校外学習	86
10月5日、6日	GTFグリーンチャレンジデー2019（新宿御苑）	—
10月8日	一の谷小学校3年生校外学習	26
10月14日	木こり講座	1
10月17日	東秋留小学校4年生校外学習（学校訪問）	89
10月20日	木こり講座	4
10月24日	増戸小学校4年生校外学習	84
10月29日	南秋留小学校3年生校外学習	76
11月2日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	4
11月3日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	16
11月4日	木こり講座	4
11月30日	木こり講座	18
12月1日	堀田尾根道整備事業（深沢地区）	10
12月8日	木こり講座	12
12月22日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	24
令和2年 1月12日	木こり講座	11
1月19日	木こり講座	7
2月2日	子どもが主役のオオムラサキの森活動	15
2月9日	手道具安全講習会	11
2月16日	木こり講座	11
3月7日	菅生大沢地区植樹活動	52
3月29日	森林レンジャーあきる野ツアー（新型コロナ対策のため中止）	—

(3) 情報発信の取組

- ア 森林レンジャーあきる野新聞の発行 12回
- イ 森林レンジャーがゆく（広報掲載） 10回
- ウ 森林レンジャーあきる野活動報告書（平成28年度から平成30年度まで）の作成

3 森林サポートレンジャーあきる野

郷土の恵みの森構想の実現に向け、町内会・自治会等との協働により郷土の恵みの森づくりを進めるため、市職員及び市民等による「森林サポートレンジャーあきる野」を設置しており、町内会・自治会等が行う尾根道の補修、景観の向上等の森づくり事業の支援活動を行った。

(1) 隊員の構成

- ア 人数 105人（令和2年3月31日現在）
- イ 内訳
 - (ア) 市職員 47人
 - (イ) 市民 29人（うち企業2社4人）
 - (ウ) 市民以外 29人

(2) 活動状況

実施日	内容	参加者数
平成31年 4月20日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	4
令和元年 5月25日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	12
7月6日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	4

7月20日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	3
9月8日	加茂原周辺景観整備事業（落合地区）	5
9月14日	二反坂周辺景観整備事業（寺岡地区）	10
11月2日	深沢川周辺景観整備事業（深沢地区）	4
12月1日	堀田尾根道整備事業（深沢地区）	10
合 計		52

4 森の子レンジャー

森づくりの推進役である森林レンジャーあきる野と一緒に、あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく郷土愛を持った人材を育てることを目的に、第9期森の子レンジャー（公募で募集した小学4、5年生の14人）が1年間活動した。

また、森の子レンジャーOBによる同窓会として、自分たちが活動した森などの整備を行った。

(1) 第9期活動状況

実施日	内 容
令和元年 5月14日	森の子レンジャー保護者説明会（五日市出張所） ・年間の活動計画と活動方針について
5月19日	始動式、森の散策（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
6月2日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
7月7日	調査（森、痕跡、鳥、植物・昆虫）（小宮ふるさと自然体験学校周辺）
8月4日	どんぐり豊凶調査（落合地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
9月28日	鳥の渡り調査（大沢地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
11月2日	夜の森観察（樽地区）
12月8日	ビオトープの整備（小宮地区及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
令和2年 1月19日	巡視登山（金比羅山及び小宮ふるさと自然体験学校周辺）
3月29日	終了式（新型コロナ対策のため中止）

(2) 同窓会活動

実施日	内 容
令和元年11月24日	第3、4、5、6、7、8期同窓会（ビオトープ整備）

5 小宮ふるさと自然体験学校の運営

平成24年3月31日をもって閉校となった小宮小学校を、子どもたちを中心に自然とのふれあいや環境学習の場として提供することにより、心豊かな人間性を育むとともに、地域の活性化を図るための拠点施設とするため、小宮ふるさと自然体験学校を平成24年9月1日に開校した。

本施設を拠点として、主に幼児や小学生を対象とした各種の自然体験事業等を実施している。また、あきる野市小宮ふるさと自然体験学校の設置及び管理に関する条例を平成27年7月1日に施行しており、貸出施設として各団体に使用されている。

令和2年3月2日以降は、新型コロナ対策のため自然体験事業を中止した。

(1) 自然体験事業等

内 容	利用人数
あきる野市の自然体験事業（森っこサンちゃんクラブ等）	166
市内小中学校の自然体験事業	650
その他、学校等の体験事業	38
団体の自然体験事業（市内の団体）	669

団体の自然体験事業（市外の団体）	5 2 3
森の子コレンジャー	1 0 7
見学（校内見学）等	8 9
合 計	2, 2 4 2

(2) その他イベント等

内 容	利 用 人 数
ふれあい交流事業	6 7 1
施設の貸出	1, 5 2 7
その他（自然体験事業下見等）	1 2 8
合 計	2, 3 2 6

6 産学公の取組

(1) 産学公連携による森づくり

郷土の恵みの森構想等に基づき、菅生地区で取り組む森林の保全・活用及び地域の活性化についての調査・研究並びにこれらの活動及びその担い手の育成などについて、平成23年7月13日、「NECフィールドディング株式会社、明星大学及びあきる野市との連携による自然環境保全活動等に関する協定書」を締結し、産学公が連携して取り組んでいる。

菅生大沢地区の市が所有する山林では、豊かな里山へ再生することを最終目的として、ワークショップ方式により、整備が進められている。

(2) あきる野菅生の森づくり協議会

協定書に基づく森づくりの取組を具体的に進めていくため、平成23年8月8日、菅生町内会、明星大学、NECフィールドディング株式会社、あきる野青年会議所、特定非営利活動法人ふるさと森づくりセンター及びあきる野市により「あきる野菅生の森づくり協議会」が設置された。平成24年度からは、この協議会に西多摩マウンテンバイク友の会が加わり、菅生地区で取り組む里地活性化事業や里山活性化事業の検討等を行うとともに、各種事業を実施した。

開 催 日	内 容
令和元年 5月17日	第23回協議会 1 平成30年度事業報告について 2 平成30年度決算報告について 3 令和元年度事業計画（案）について 4 令和元年度の助成金の申請状況について 5 令和元年度予算（案）について 6 その他
12月16日	第24回協議会 1 令和元年度事業の実施状況について 2 あきる野菅生の森づくり協議会の今後の方向性について 3 令和2年度における菅生の森づくり協議会の事業計画作成に伴う調査のご協力について 4 その他

(3) 里地活性化事業

農産物の特産化について

高齢化や後継者不足等により耕作や手入れがされなくなった農地等を活用し、菅生地区の気候風土に適した農作物について、流通を意識して生産することにより、地域住民の連帯や経済的な助けとなるよう農産物の特産化に取り組んだ。

今年度は、菅生野菜として、トマト（フルティカ・アイコ・イタリアントマト等）、シイタケを中心に多品種を栽培し、畑と協議会ハウスの直売所などで販売を行った。

また、菅生野菜のPRとしてのぼり旗を幹線道路沿いに設置したことにより、新たに訪れる人が増え、菅生野菜としての認知度を向上させた。

農作業については、NECフィールドイング竹取物語OB会の5人が週3日（月・火・木）のほか、必要に応じて随時実施した。

(4) 里山活性化事業

ア ワークショップ（保全活動と育成）について

あきる野市が所有する菅生大沢地区の山林を豊かな里山へ再生するため、ワークショップ形式で利活用の検討を進めるとともに、下草刈りや低木類の伐採作業などを行った。

なお、今年度は、サクラ、モミジ等を植栽し、豊かな里山への再生を目指す活動を実施した。

開催日	内容
平成31年 4月14日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
令和元年 5月12日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
5月26日	明星大学の「環境基礎ゼミ」野外学習を実施した。竹取物語と西多摩マウンテンバイク友の会の指導により、緑の質を高め生態系に配慮した樹木の再生と植生の適正管理を目的に、コナラ林に繁茂する低木類の伐採や草刈りを行った。また、盛土された斜面に繁茂するオオムラサキの除去作業を行った。
6月 1日	大沢地区の整備について、意見交換を行った。
9月 7日	大沢地区の整備について、意見交換を行った。
9月 8日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
10月13日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
11月30日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
12月 7日	大沢地区の植栽整備について、意見交換を行った。
12月 8日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
1月13日	東側林内の低木類の伐採及び散策路づくり
令和2年 2月 9日	手道具の安全講習会を実施した。
3月 7日	大沢地区の植栽作業を実施し、サクラ、モミジ等（31本）を菅生町内会の方や大沢で作業に関わっている人と植栽した。

イ 自然環境教育について

体験事業や講座を通じて、森づくりや自然環境保全等の担い手を育成するため、環境教育イベントを実施した。

(ア) 菅生子どもの森広場

次世代を担う心豊かな子どもたちを育てるための体験の場として、里山とふれあいながら森や川での生き物探しや森での遊び、オオムラサキの舞う里山に向けた再生活動などの自然体験活動を行った（公募で募集した小学1年生から6年生までの20人）。

開催日	内容
令和元年 5月12日	食べられる野草摘みと天ぷらづくり
7月21日	水辺の生きもの探しと環境調べ
9月15日	森や野原での昆虫探しと簡易標本づくり体験
令和2年 1月19日	竹細工による作品づくり
3月15日	仲間とつくる森の秘密基地（新型コロナ対策のため中止）

(イ) 子どもが主役のオオムラサキの森活動

子どもたちが豊かな自然とふれあい、自由に遊ぶ森の広場を目指し、スギ・ヒノキの針葉樹林を広葉樹林へ樹種変換を図り、オオムラサキの生息する森づくり活動を行った。

開催日	内容
平成31年 4月 7日	遊具の設置及び修理作業と散策路周辺の植物調査を実施

令和元年	5月	5日	遊具の設置及び修理作業とコ克蘭の観察及び散策路整備を実施
	6月	2日	オオムラサキの森付近の通路の草刈と竹の伐採と遊具の修理作業を実施
	7月	7日	オオムラサキの観察会を実施
	9月	1日	作業路の下草刈り及び竹の伐採を実施
	10月	6日	竹の伐採と自然観察路の整備を実施
	11月	3日	エノキの毎木調査とオオムラサキの森付近の通路の草刈作業を実施
	12月	22日	エノキの毎木調査とオオムラサキの森付近の通路の草刈作業を実施
令和2年	2月	2日	竹の伐採と広葉樹の稚樹移植作業を実施
	3月	1日	オオムラサキの観察用ネット設置作業（新型コロナウイルス対策のため中止）

(ウ) 木こり講座

森林の保全・活用を図るため、樹木の伐採や切り出した材を活用できるよう、チェーンソーの使い方や樹木の伐採の方法を学び、森林整備の担い手の育成を行った。

開催日	内容
平成31年 4月14日	大沢地区において、散策路に使用する木道の部材づくりとヒノキの伐採作業を実施
令和元年 5月12日	大沢地区において、散策路に使用する木道の部材づくりと倒木処理作業を実施
7月20日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採跡地の草刈作業を実施
8月 3日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採跡地の草刈作業を実施
9月 8日	大沢地区において、伐採木を活用したウッドデッキづくり作業を実施
10月14日	大沢地区において、伐採木を活用したウッドデッキづくり作業を実施
10月20日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採跡地の草刈作業を実施
11月 4日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採作業とホダ木を搬出するための作業道整備を実施
11月30日	大沢地区において、伐採木を活用したウッドデッキづくり作業を実施
12月 8日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採作業とホダ木を搬出するための作業道整備を実施
令和2年 1月12日	チェーンソーの安全講習会を実施し、基本的な操作方法や実技指導を実施
1月19日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採作業とホダ木の搬出作業を実施
2月16日	若宮体験の森において、コナラ林の伐採作業とホダ木の搬出作業を実施

(エ) 親子で体験「椎茸のホダ木づくりと駒打ち体験」

木こり講座で伐採したコナラを有効に活用するため、「椎茸のホダ木づくりと駒打ち体験」を実施した。

開催日	内容
令和2年 2月24日	若宮体験の森において、木こり講座のメンバーが間伐のために伐採したコナラを使い、「椎茸のホダ木づくりと駒打ち体験」を実施

(オ) 親子で体験「マウンテンバイク体験教室」

地域の方々と親睦を図るとともに、里山におけるマウンテンバイク利用の理解を深めることを目的に、「西多摩マウンテンバイク友の会」の協力により、菅生町内会を始め地域の親子を対象にマウンテンバイク体験教室を開催した。

開催日	内 容
令和元年 6月23日	初めて参加する方を中心としたマウンテンバイク教室を開催し、基本的な乗り方などを説明した後、実際にマウンテンバイクコースでの走行を行った。
10月27日	前回と同様に、マウンテンバイク教室を開催した。
令和2年 3月 1日	経験者を含めたマウンテンバイク教室の開催（新型コロナ対策のため中止）

7 ホタルの里づくり

(1) ホタルの里づくり推進事業

ホタルが生息している地域の町内会・自治会が中心に行っている河川の清掃などの保全活動やホタルの鑑賞会などの取組を支援した。

町内会・自治会名	団 体 名	金 額（円）
深沢自治会	深沢ほたるの会	54,000
雨間町内会	南郷用水ホタルの会	54,000
落合自治会	落合自治会ほたるの会	54,000
下引田町内会	一の谷地区ほたるの会	54,000
合 計		216,000

(2) ホタル保全活動事業

圏央道のトンネル上部に設置された菅生公園内の管理及び水路の美化等によるホタルの保全活動を「菅生ホタルの里づくりの会」に業務委託した。

ア 委託事業者 菅生ホタルの里づくりの会

イ 履行期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

ウ 委託料 60,000円

(3) ホタルの里づくり推進事業に係る情報交換会

ホタルの保護や環境整備に取り組んでいる団体等を対象に、情報交換会を開催した。

開催日	内 容
平成31年 4月25日	各団体の取組状況等について、情報交換を行った。
令和元年11月27日	横沢入里山保全地域において、ホタルの保全活動を実施している団体から取組状況の説明を受けた後、情報交換を行った。

8 森っこサンちゃん

市のイメージキャラクターである「森っこサンちゃん」は、市が発行する各種刊行物や各種イベント等において、里山環境の保全や観光のPR活動などに広く活用されている。そのデザインについては、事業者が各種商品に活用できるよう、『「森っこサンちゃん」の使用に関する要領』を定めており、各種商品等に活用されている。また、「森っこサンちゃん」着ぐるみ使用基準を定めており、市のイベント等で活用している。

平成28年7月25日には、PR活動を更に推進するため、キャラクター活動に関心のある市職員がボランティアで組織する「森っこサンちゃんサポーターズクラブ」を設置し、「森っこサンちゃん」の幅広い活用の検討や着ぐるみ対応の支援などを行っている。



(1) 各種商品(令和2年3月31日現在)

	商 品 名	取 扱 店 舗 等
食 品	塩セット、チョコクランチ、マシュマロ、ポテあられ	新四季創造(株)
	サブレ	レ・ポルト・ドゥ・フィナンシェ

	焼菓子（どら焼き、まんじゅう）	恵比寿屋、(有)中島屋
その他	キューピー人形、クリップ、ぬいぐるみ、ボールペン、ミニタオルセット、ミニメモ帳	新四季創造(株)
	ストラップ	新四季創造(株)、東京都森林組合
	スマホ立て	東京都森林組合
	Tシャツ	シンコースポーツ(株)、(株)久松機工
	ポロシャツ、防滴ポーチ、メッシュキャップ、Yシャツ	シンコースポーツ(株)

(2) 着ぐるみの活用

事業	回数					合計
	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	
市が主催又は共催する事業	21	21	15	15	21	93
小学校、中学校が実施する事業	0	0	2	0	0	2
幼稚園、保育園が実施する事業	1	2	4	2	3	12
観光推進関連事業	4	7	8	7	12	38
商工推進関連事業	2	1	1	1	1	6
その他の事業	2	7	6	6	12	33
合計	30	38	36	31	49	184

1 環境確保条例に関する委任事務

環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）に基づく事務の一部を都から受任しているため、同条例に基づく工場の認可、指定作業場の届出及び地下水揚水施設の揚水量報告に係る指導等を行った。

(1) 工場設置及び変更認可件数の推移

種 類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
設置認可	0	2	1	2	4
変更認可	0	7	4	3	1

(2) 指定作業場設置及び変更届出件数の推移

種 類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
設置届	3	2	3	2	2
変更届	0	2	0	1	0

(3) 地下水揚水量報告書提出件数

工場	6	指定作業場	5	その他	7	合計	18
----	---	-------	---	-----	---	----	----

2 騒音規制法及び振動規制法に基づく届出

騒音規制法及び振動規制法により、特定施設の届出に係る指導等を行った。

(1) 騒音規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	66	53	119
特 定 施 設	379	190	569

(2) 振動規制法に基づく特定工場数と特定施設数 (単位：箇所)

種 別	秋川地区	五日市地区	合 計
特 定 工 場	61	27	88
特 定 施 設	408	151	559

(3) 騒音規制法に基づく特定建設作業の届出数 16件

(4) 振動規制法に基づく特定建設作業の届出数 8件

3 公害に関する苦情

(1) 苦情受付現象別件数

現 象	令和元年度	現 象	令和元年度
悪 臭	6	粉 じ ん	0
汚 水	2	焼 却 行 為	19
騒 音	17	そ の 他	68
ば い 煙	0	合 計	112

(2) 発生源別・用途地域別苦情受付件数

用途地域 公害種目		受 付									
		低層住宅	中高層住宅	住宅地域	近隣商業	商業	準工業	工業	工業専用	無指定	合 計
発 生 源	工 場	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	指定作業場	2	0	0	0	0	0	0	0	1	3
	建設作業	3	0	0	0	0	1	0	0	3	7

別	一般	51	5	5	0	0	1	0	0	37	99
	合計	58	5	5	0	0	2	0	0	42	112

(3) 空き地の管理の適正化に関する条例に基づく事務

苦情受付件数	報告件数	指導件数	草刈機貸出し件数
27	0	27	47

4 環境調査

(1) 秋川・平井川河川水質調査＜年間4回（※1）実施の平均値＞

項目・単位 地点	PH 水素イオン 濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	SS 浮遊物質量	DO 溶存酸素量	大腸菌群数
	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
西青木平橋(秋川)	7.3	0.5	2.0	10.2	1,425
落合橋(秋川)	7.3	0.6	2.0	10.2	—
沢戸橋(秋川)	7.4	<0.5	6.0	9.9	—
秋川橋(秋川)	7.5	0.6	8.8	9.8	2,775
天王沢(秋川合流点)	7.5	0.5	<1.0	10.2	—
三内川(秋川合流点)	7.5	0.6	<1.0	9.7	—
清水荘前(秋川)	7.4	0.6	4.0	10.4	—
引田堰(秋川)	7.6	0.6	5.0	10.7	3,300
秋留橋(秋川)	7.5	0.7	3.0	10.3	—
東秋川橋(秋川)	7.1	0.6	12.3	10.5	5,250
舞知川(秋川合流点)	7.2	0.7	12.5	9.6	—
高橋上流(養沢川)	7.4	0.6	<1.0	10.2	790
五日市解体下(養沢川)	7.3	0.6	<1.0	9.9	945
小宮ふるさと自然体験学 校前(養沢川)	7.5	0.5	3.3	10.3	—
観音橋(平井川)	8.0	0.8	1.0	10.6	4,225
小宮久保橋(平井川)	8.3	0.6	1.0	10.7	—
新開橋(平井川)	7.4	0.6	3.3	10.0	—
多西橋(平井川)	7.6	0.6	1.0	10.5	3,450
鯉川橋(鯉川)	7.6	0.6	1.8	9.6	—
氷沢川ヒル橋(氷沢川)	7.4	0.5	2.0	10.4	—
参考値(※2)	6.5~8.5	1 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	50MPN/100 ml 以下

※1 採水日：令和元年5月10日、8月5日、11月1・7日、令和2年2月13日

※2 参考値は、河川AA類型（秋川・平井川）の環境基準値である。

※3 PH（水素イオン濃度）、SS（浮遊物質量）及び大腸菌群数以外の項目は環境基準を満たしていた。なお、大腸菌群数には土壌や植物由来のものが含まれており、経年変化で見ると急激な数値の上昇は見られないが、今後も経過観察していく。

(2) 清流保全条例施行に伴う湧水及び合流点の水質分析調査（採取日 令和2年2月20・21日）

項目・単位 調査場所	PH水素 イオン濃度	BOD 生物化学的 酸素要求量	全窒素	アンモニア 性窒素	大腸菌群数
	—	mg/l	mg/l	mg/l	MPN/100ml
山田八幡神社裏	7.4	<0.5	4.37	0.03	70
真城寺	7.6	0.5	3.52	0.02	70
白滝神社	7.4	<0.5	3.43	0.01	79
牛沼287	7.1	<0.5	4.30	0.01	110

雨間 6 9 8	7.0	<0.5	3.49	0.03	110
秋川グリーンスポーツ公園前	6.8	<0.5	3.40	0.02	49
小川 8 2 0	7.0	<0.5	7.25	0.02	110
平沢 6 1 7	6.6	<0.5	7.34	0.02	70
広済寺付近	6.8	<0.5	7.82	0.01	140
二宮お滝	6.5	<0.5	7.13	0.02	140
二宮神社お池	6.5	<0.5	7.61	0.03	140
八雲神社	6.4	<0.5	7.40	0.02	110
草花公園	6.9	<0.5	5.73	0.01	70
草花 1 1 2 7	6.8	<0.5	4.04	0.01	110
草花小学校西	7.5	<0.5	2.46	0.01	170
菅生夫婦橋下	7.1	<0.5	5.19	0.01	70
折立坂	7.5	<0.5	2.74	0.01	140
南秋留小横	-	-	-	-	-
ミュキ組宿舎（西）	9.0	0.9	2.54	0.02	140
舞知川	8.9	1.3	3.42	0.03	170
広済寺下	7.8	0.9	6.04	0.01	110
玉見ヶ崎公園隣	8.1	1.0	6.61	0.01	130
養沢川	7.5	<0.5	0.97	0.01	79
盆堀川	7.9	0.7	0.81	0.01	110
入野沢	7.4	0.8	1.08	0.03	110
北裏水路	7.7	0.7	2.21	0.02	79
樽沢	7.5	0.8	2.32	0.02	110
宮の入沢	7.4	0.5	1.86	0.02	140
横沢	7.8	0.7	1.43	0.02	110
引谷川	8.0	0.7	1.20	0.02	140
溝ッ堀	7.3	1.0	2.75	0.03	170
北川原	-	-	-	-	-
ふれあい橋	8.2	1.1	2.13	0.02	220
鯉川合流	8.0	0.8	2.36	0.02	220
氷沢川	8.0	1.0	2.60	0.01	140
新開橋下	8.1	1.0	3.57	0.03	220
参考値（※1）	6.5~8.5	1mg/l 以下	基準なし	0.1mg/l 以下	50MPN/100 ml 以下

※1 湧水の環境基準がないため、河川 A A 類型（秋川・平井川）の環境基準値を参考値として記載する。

※2 南秋留小横及び北川原では、湧水が確認できなかったため、調査を行っていない。

(3) 地下水汚染調査（採取日 平成31年4月9日）

調査地点 調査項目	草花1 2672 番地	草花2 1837 番地	野 辺 408 番地	雨 間 652 番地	湊 上 312 番地	伊 奈 1133 番地	留 原 83 番地	環境基準 (水道水の水質 基準)
トリクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
テトラクロロエチレン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01 mg/l 以下
1,1,1-トリクロ ロエタン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	1 mg/l 以下

※ 全ての地点、全ての項目について環境基準を満たしていた。

(4) その他の水質関係調査

ア 工場等排水調査

年 1 回 4 事業場

イ	ゴルフ場水質調査	年1回	2か所
ウ	秋川・平井川大腸菌調査（ふん便性）	年1回	11か所
エ	多摩川及び関連河川水質合同調査	年2回	2か所
オ	秋川・平井川水生生物調査	年2回	6か所

(5) 一般大気環境調査（粉じん）（測定日 令和2年1月23日～24日（24時間））

調査地点	令和元年度
屋城小学校	0.0297
農業会館	0.0215
一の谷児童館	0.0176
いきいきセンター	0.0162
阿伎留医療センター	0.0149
秋川給食センター	0.0203
汚泥再生処理センター（旧秋川衛生組合）	-
野辺地内	0.0189
草花地内	0.0176
あきる野市役所	0.0196
五日市センター	0.0106
留原自治会館	0.0114
五日市出張所	0.0104
横沢クラブ	0.0128
ファインプラザ	0.0120
環境基準	1時間値の1日平均値が 0.10mg/m ³ 以下かつ1時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること

※ 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(6) 市内主要地点での二酸化窒素調査（簡易調査法（フィルターバジジ法）による。（単位：ppm）

地名	5月	9月	11月	2月	平均値
野辺交差点	0.014	0.015	0.014	0.019	0.016
小川交差点	0.017	0.016	0.016	0.020	0.017
二宮本宿交差点	0.014	0.015	0.015	0.019	0.016
氷沢橋交差点	0.012	0.013	0.014	0.020	0.015
菅生交差点	0.017	0.019	0.015	0.024	0.019
上菅生バス停	0.007	0.007	0.007	0.010	0.008
瀬戸岡交差点	0.017	0.014	0.017	0.022	0.018
秋川交差点（西秋留）	0.012	0.015	0.012	0.017	0.014
秋川駅西踏切	0.028	0.018	0.015	0.019	0.020
油平交差点	0.016	0.017	0.017	0.020	0.018
秋留橋	0.025	0.025	0.014	0.024	0.022
淵上交差点	0.016	0.018	0.014	0.018	0.017
山田交差点	0.010	0.013	0.010	0.011	0.011
留原交差点	0.006	0.006	0.006	0.009	0.007
小中野交差点	0.009	0.008	0.006	0.011	0.009
十里木交差点	0.007	0.012	0.006	0.009	0.009
青木平橋入口	0.008	0.009	0.007	0.009	0.008
小宮ふるさと自然体験 学校入口	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004
五日市出張所	0.005	0.004	0.004	0.007	0.005
東町交差点	0.012	0.010	0.010	0.013	0.011

武蔵五日市駅前	0.016	-	0.011	0.018	0.015
小机バス停	0.015	-	0.015	0.018	0.016
季節の平均濃度	0.013	0.013	0.011	0.016	0.013
環境基準	1時間値の1日平均値が0.04～0.06までのゾーン内又はそれ以下				

※1 武蔵五日市駅前及び小机バス停の9月分については、測定器紛失により調査できなかった。

※2 全ての調査日、全ての地点で環境基準を満たしていた。

(7) 大気中ダイオキシン類調査 (単位：pg-TEQ/m³)

あきる野市役所	五日市出張所	環境基準
0.011	0.012	0.60以下

※1 測定日：令和元年8月16日～8月23日(168時間)

※2 全ての地点で環境基準を満たしていた。

(8) その他の調査

ア 工場等臭気調査	年1回	2工場
イ 道路沿道環境調査	年1回	4地点(交通量、騒音調査)
ウ 採石場周辺環境調査	年4回	粉じん・重金属、二酸化窒素、交通量等の調査
エ 事業所関連環境調査	対象事業所2社(水質関係)	

(9) 多摩西部における光化学スモッグの状況

ア 月別 ()内は都内全域の件数 (単位：件)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
学校情報	0(1)	3(7)	1(1)	0(0)	1(2)	0(3)	1(2)	6(16)
注意報	0(0)	0(3)	1(1)	0(0)	0(2)	0(1)	0(0)	1(7)
警報	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

イ 経年変化

年度	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年
注意報発令回数	9	8	5	4	0	1	2	1

5 空間放射線測定

定点測定 6か所 4回測定実施(原則として3か月に1回)

6 生活排水対策事業

(1) 合併処理浄化槽設置事業補助金

人槽	設置基数	補助単価(円)	補助金額(円)
5人	6	444,000	2,664,000
6～7人	3	486,000	1,458,000
8～10人	0	576,000	0
11～20人	0	1,092,000	0
合計	9		4,122,000

(2) 既存単独浄化槽撤去補助金

区分	撤去基数	補助単価(円)	補助金額(円)
既存単独浄化槽撤去補助	1	90,000	90,000

7 環境啓発事業

廃食油からの石鹸づくり事業 年間6回実施

1 ごみ処理事業

(1) ごみ収集実績

分別区分	収集量及び 持込み量(t)		収集 日数	収集日1日当 り収集量(t)	行政区域内人口 (収集人口)	1人1日 排出量(g)		
	収 集	持 込						
可 燃 ご み	収 集	17,740	104	170.577	80,686	600.7		
	持 込	182				6.1		
不 燃 ご み	収 集	372	24	15.500		12.6		
	持 込	5				0.2		
資 源	収 集	3,903	48	81.313		132.2		
	うちペットボトル	174				(24)	7.250	5.9
	うち白色トレイ	2				(24)	0.083	0.1
	うち小型電子機器	35				(24)	1.458	1.2
有 害 ご み	収 集	35	(24)	1.458		1.2		
粗 大 ご み	収 集	393	(85)	4.624		13.3		
	持 込	523			17.7			
総 量		23,153			784.0			

※1 行政区域内人口及び収集人口は、令和元年10月1日現在

※2 () 内の日数は、他の収集日と重なるため、収集日の合計には含めない。

※3 1人1日排出量(g)は、366日で除する。

(2) 犬猫等死体処理

(単位：頭)

区 分	犬	猫	その他	合 計
有 料	16	35	10	61
無 料	4	217	448	669
合 計	20	252	458	730

※ 飼主のいる場合は、有料(1頭につき2,200円)、飼主不明の場合は無料

(3) ごみ収集業者及び収集区域

業 者	区 域
島田産業(有)	雨間・野辺・小川・二宮・平沢・牛沼・秋留等
浦野産業(株)	草花・瀬戸岡・引田・淵上・秋川等
(株)鈴木商店	雨間・切欠・菅生・牛沼・大規模事業所
松村ダスト(有)	山田・伊奈・五日市・小中野・戸倉・乙津等

(4) 粗大ごみ収集件数

業 者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
島田産業(有)	355	364	392	296	501	405	316
浦野産業(株)	424	521	421	422	518	463	448
松村ダスト(有)	210	210	179	227	216	201	276
合 計	989	1,095	992	945	1,235	1,069	1,040
業 者	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	
島田産業(有)	517	445	293	294	308	4,486	
浦野産業(株)	496	606	316	325	395	5,355	
松村ダスト(有)	256	260	164	167	202	2,568	
合 計	1,269	1,311	773	786	905	12,409	

(5) 減免用ごみ袋交付事業実績

該 当 項 目	A	B	C	D	E	F	G	H	合 計
減免世帯数	481	582	114	5	1,279	76	17	7	2,561

A 生活保護受給世帯

- B 児童扶養手当受給世帯
- C 特別児童扶養手当受給世帯
- D 国民年金の遺族基礎年金受給世帯
- E 65歳以上のみの世帯で、前年度の住民税が非課税の世帯
- F 身体障害者福祉法により1級又は2級の身体障害者手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯
- G 東京都愛の手帳交付要綱により、1度又は2度の愛の手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯
- H 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律により1級の精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が属する世帯で前年度の住民税が非課税の世帯

(6) ボランティア袋配布事業実績 (1組10枚)

番号	配布場所		可燃 (大)	可燃 (小)	不燃 (大)	不燃 (小)	合 計
1	生活環境課	配布組数	1,162	102	135	21	1,420
2	宿直室	配布組数	0	0	0	0	0
3	市民課窓口	配布組数	10	0	0	0	10
4	あきる野ルピア	配布組数	64	20	3	6	93
5	五日市ファインプラザ	配布組数	100	6	3	0	109
6	五日市出張所	配布組数	65	14	7	1	87
7	中央公民館	配布組数	7	0	0	0	7
8	いきいきセンター	配布組数	3	13	0	0	16
9	増戸会館	配布組数	5	1	0	0	6
合 計		配布組数	1,416	156	148	28	1,748

2 し尿処理事業

(1) し尿処理実績

(人口は令和元年10月1日現在)

行政区域内 人 口	総収集量 (kℓ)	収集日数 (日)	1日収集量 (kℓ)	収集人口 (人)	1人1日 排出量 (ℓ)
80,686	2,274	240	9.475	788	7.88

※ 1人1日排出量(ℓ)は、366日で除する。

(2) し尿処理業者及び収集区域

業 者	サンエー(有)	(有)五日市清掃
区 域	秋川地区	五日市地区

3 し尿浄化槽清掃費助成事業

(1) し尿浄化槽汚泥収集実績

(人口は令和元年10月1日現在)

行政区域内 人 口	総収集量 (kℓ)	収集日数 (日)	1日収集量 (kℓ)	収集人口 (人)	1人1日 排出量 (ℓ)
80,686	3,231	240	13.463	5,076	1.74

※ 1人1日排出量(ℓ)は、366日で除する。

(2) し尿浄化槽清掃費助成実績

予算現額(円)	助成総額(円)	件 数
5,600,000	5,010,790	633

4 一般廃棄物処理手数料徴収事務

(単位:円)

区 分	予算現額	調定額	収入額	不納 欠損額	還付 未済額	収入 未済額
家 庭 ご み	164,919,000	172,234,290	172,234,290	0	0	0
事 業 所 ご み	54,516,000	51,904,600	51,904,600	0	0	0

粗 大 ご み	13,320,000	14,319,900	14,319,900	0	0	0
し 尿	5,458,000	5,595,800	5,402,450	18,350	500	175,500
動物死体処理	110,000	134,200	129,800	0	0	4,400
合 計	238,323,000	244,188,790	243,991,040	18,350	500	179,900

5 一般廃棄物処理施設見学

ごみ処理施設（西秋川衛生組合）

市内の小学校等24団体499人が施設を見学した。

6 ごみ減量化・資源化事業

(1) イベント関係

ア 開催日 令和元年5月11日 午前10時から午後3時まで

イ 場 所 あきる野環境フェスティバル2019会場内（都立秋留台公園）

ウ 内容等

- (ア) フリーマーケット出店数 65店
- (イ) リサイクル品（家具等）無料抽選会出品数 29点
- (ウ) 生ごみ堆肥化講習会参加者数 14人
- (エ) フードドライブ 83.3kg
- (オ) エコバック配布数 377個
- (カ) インクカートリッジ・トナー回収数 136個
- (キ) イエローチョーク配布数 69個
- (ク) 食品ロスマグネット配布数 97枚
- (ケ) ごみ減量の啓発パネル等展示

(2) 資源集団回収事業

ア 回収実績等

回 収 量 (kg)					
紙 類	鉄 類	アルミ類・銅等の金属	ビン類	ビンケース	合計 (円)
1,863,794	32,616	33,763	29,346	906	1,960,425
登録団体数	実施回数	売上額 (円)	奨励金 (円)		
113	885	2,629,604	23,567,134		

(奨励金：紙類等取引料5,591,382円含む。)

イ 資源集団回収団体表彰 優良3団体

(3) EM菌生ごみ処理容器貸与事業実績

ア 令和元年度貸与数 47世帯・92個

イ 通算貸与数 2,760世帯・5,415個

(4) 環境問題啓発絵画（図画）・ポスター作品展示

ア 対象者 市内小学校4年生から中学校3年生まで

イ 応募数 460点（小学校69点、中学校391点）

ウ 審査結果 入賞16点（小学校3点、中学校13点）

エ 展示期間 令和元年11月11日から11月16日まで

オ 展示場所 市役所1階コミュニティホール

(5) 廃棄物減量等推進員（ごみ会議）活動実績

- ア 会議 9 回開催（全体会議 6 回、編集会議 3 回）
- イ ごみ情報誌「へらすぞう」発行 1 回
- ウ 生ごみ減量 P R
- エ 生ごみ堆肥化講習会 6 回 49 人参加

7 不法投棄防止対策事業

(1) 不法投棄防止パトロール事業

週 2 回（年間 101 日間）2 人 1 組で市内を巡回し、パトロールと回収作業を行った。

- ア 回収件数 1,113 件
- イ 回収量 23.810 t
- ウ リサイクル法等対象投棄件数 26 件
- エ リサイクル法等対象投棄の内訳
 - (ア) 家電リサイクル法 4 品目処理件数 25 件
 - (イ) パソコンリサイクル法品目処理件数 0 件
 - (ウ) 自動車リサイクル法品目処理件数 0 件
 - (エ) 処理不能件数 1 件

(2) 河川等清掃及び不法投棄ごみ収集

実施日	作業名	内 容
令和元年 5 月 26 日 及び 11 月 24 日	あきる野市 一斉清掃	町内会・自治会、漁協（五日市地区）、P T A 等の協力により、春、秋の 2 回、市内各地の道路や河川等の清掃を実施した。 町内会・自治会参加人数 1 参加人員 第 1 回 14,999 人 第 2 回 12,836 人 2 ごみ収集量 第 1 回 20.24 t 第 2 回 28.93 t
平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 31 日	河川等ごみ 収集	あきる野市シルバー人材センター等に委託し、河川等の投棄ごみを収集した。 委託延べ人員 843 人
平成 31 年 4 月 1 日 ～令和 2 年 3 月 10 日	団体による 道路・河川 等清掃	市内小中学校 P T A により、道路や河川等の清掃を実施した。 参加延べ人員 5,101 人 (うち河川は 1,053 人)

8 斎場事業

(1) 火葬場使用状況

(単位：回)

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
あきる野市	81	64	62	72	62	70	76	74	88	69	75	70	863
日の出町	22	24	19	22	11	24	22	24	28	26	21	21	264
檜原村	6	3	3	4	5	6	7	9	10	10	7	5	75
奥多摩町	7	12	14	10	13	12	11	9	20	8	10	9	135
組合外	7	10	6	6	10	5	9	12	4	10	14	9	102
合計	123	113	104	114	101	117	125	128	150	123	127	114	1,439

(2) 斎場使用状況

(単位：回)

市町村名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
あきる野市	24	27	25	20	23	22	24	22	30	24	22	20	283
日の出町	6	7	8	10	2	8	10	13	11	10	9	10	104

檜原村	0	0	1	0	0	2	1	2	1	2	1	1	11
奥多摩町	1	3	3	2	5	6	1	4	7	2	5	3	42
組合外	2	5	1	2	2	2	1	2	0	2	3	1	23
合計	33	42	38	34	32	40	37	43	49	40	40	35	463

9 家庭用小型焼却炉無料回収事業

ダイオキシン等を出さない適正なごみ処理を推進するため、家庭用小型焼却炉の無料回収（3基）を実施した。

10 災害廃棄物処理事業

令和元年台風19号により、河川の氾濫、土砂流出、浸水等の甚大な被害が発生したため、被災家屋等からの災害廃棄物の収集運搬及び処理を実施した。

(1) 収集方法

災害廃棄物の収集方法は、一時仮置場等の設置及び戸別収集にて対応した。

地区	対応方法
留原地区	集積場所の設置、戸別収集の実施
山田地区	一時仮置場及び集積場所の設置、戸別収集の実施 一時仮置場2箇所 ①東京金属事業健康保険組合秋川球場（山田854-1） ②個人所有地（山田地区）
その他の地区	戸別収集の実施

(2) 災害廃棄物処理量（令和2年3月31日現在）

災害廃棄物の種類	処理量（トン）
粗大ごみ（畳・布団など含む。）	193.18 t
廃家電（テレビ・冷蔵庫など）	4.65 t（推計）
汚泥・コンクリートがらなど	22.46 t
合計	220.29 t

農林課 農政係

1 農業総務事業

農業会館の利用実績について

施設区分	利用件数 (延べ利用 団体数)	使用料			
		徴収分		減免分	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
展示室	410	404	310,800	6	19,600
会議室	47	44	35,200	3	13,200
研修室	1	0	0	1	6,000
集会室	177	129	123,000	48	66,000
合計	635	577	469,000	58	104,800

2 農業振興事業

(1) 農業振興資金利子補給事業の利用状況

資金の用途	件数	貸付金 (千円)	利子補給額 (円)	備考
農産物生産施設資金	1	1,170	1,477	パイプハウス、加工所
市長が認めた災害復興 資金	3	3,970	13,039	雪害による被災パイプ ハウス等
合計	4	5,140	14,516	

(2) 市民農園貸付状況等

ア 貸付状況

農園	区画数	貸付区画数	利用者数
上ノ台農園	64	59	35
上ノ台第2農園	76	70	48
森ノ上農園	86	80	49
合計	226	209	132

イ 利用者負担金 1,495,900円

ウ 技術指導

(ア) 非常勤職員賃金 1,154,196円(管理・指導 年間242日)

(イ) 実地講習会 平成31年4月20日(初心者講習及び夏野菜の作り方:参加者19人)

(ウ) 農作物展示会 令和元年11月9日、10日(産業祭品評会々場)

3 秋川ファーマーズセンター管理事業

指定管理者による管理

名称	指定管理者	指定期間	令和元年度 利用者数
秋川ファーマーズセンター	秋川農業協同組合	平成31年4月1日 ～令和6年3月31日	272,914

4 有害鳥獣捕獲事業

農作物等に対する有害鳥獣等の捕獲の状況

実施期間	獣種	実施区域	頭羽数
平成31年4月1日 ～令和2年3月31日	イノシシ	市内全域(市街地を除く。)	70頭
	サル	五日市地区(市街地を除く。)	9頭

		増戸、五日市、戸倉、小宮地区	
	ハクビシン タヌキ アライグマ アナグマ	市内全域	154頭
	キジバト カラス ドバト ムクドリ ヒヨドリ	市内全域（市街地を除く。）	165羽
	シカ	五日市地区 戸倉、乙津、養沢、網代	13頭

5 獣害防止対策事業

(1) 獣害防止警戒システム整備事業委託

ア 委託先 東京都猟友会五日市地区

イ 委託業務 サルの追い払い

五日市地区（五日市・戸倉・小宮地区）2人 150日間

ウ 委託料 4,324,400円

(2) 加害獣侵入防止対策事業

ア 簡易電気柵購入 3セット 119,539円

イ 簡易電気柵貸出件数 80件

ウ 電気柵（落合地区）454.5m 1,828,000円

エ 電気柵（盆堀地区）374m 1,798,000円

オ 電気柵（下養沢地区）434.6m 2,104,000円

(3) 有害鳥獣捕獲支援事業

ア 有害鳥獣捕獲業務委託 2,850,000円

イ 捕獲鳥獣絶滅処分業務委託（ハクビシン等）210,000円

ウ 捕獲鳥獣捕獲業務委託（カラス等）100,000円

(4) 地域普及啓発支援事業

有害鳥獣捕獲技術講習会 210,420円

(5) あきる野の農と生態系を守り隊事業補助金

ア 保険加入補助 30件 55,500円

イ 技能講習補助 8件 99,200円

ウ 診断書料補助 9件 24,960円

6 地域農政推進対策事業

(1) 認定農業者等担い手育成総合支援協議会

開催日	内容
令和元年12月4日	役員の互選 平成30年度事業報告について 令和元年度アクションプログラム（案）について 令和元年度事業計画（案）について 農業経営改善計画認定審査（更新認定）について
令和2年2月18日	青年等就農計画認定審査について 新規就農者提案型農業経営支援事業審査について 農業経営改善計画認定審査（更新認定）について

(2) 新規就農者相談センターの設置

新規就農者相談員を1人配置し、新規就農を目指す者に対して支援を行った。

支援対象者 3人

7 畜産振興事業

家畜公害防止奨励事業

都市化が進行する中で、近隣住民等に理解が得られる生活環境とするため、農業振興会畜産部に対し、畜産公害防止のため薬剤購入補助を行った。

交付金額 220,000円

8 自然休養村事業

(1) 戸倉運動場管理及び使用状況

利用件数 [利用日数] (利用団体数)	使 用 料			
	徴 収 分		減 免 分	
	件数	金 額 (円)	件数	金 額 (円)
176 [126] (29)	45	64,800	131	112,000

(2) 運動場整備委託

ア 草刈作業委託 8回

イ シルバー人材センター等 193,294円

9 用排水路整備事業

(1) 用排水路清掃委託

番号	件 名	金 額 (円)
1	東郷前用排水路	75,600
2	小川久保用排水路	299,700
3	引田用排水路	289,980
4	下代継用排水路	246,240
5	西郷前用排水路	49,680
6	南郷用排水路	229,600
7	東郷前用排水路(その2)	122,040
8	小川久保用排水路(その2)	100,000
9	引田用排水路(その2)	87,000

(2) 農地及び農業用施設災害復旧事業

鳥居場会館西崖線が崩落(平成26年6月)したため、鳥居場地区農地防災事業の4年計画の3期目として、法面の設計・工事を実施した。

ア 法面改修工事設計委託 972,000円

イ 法面改修工事 49,000,000円

10 農業振興地域農用地除外事務

(1) 件数 2件(4筆)

(2) 面積 38.24㎡

11 農業振興地域農用地証明書発行件数 4件

12 農業団体育成事業

(1) 農業振興事業業務委託

あきる野市農業振興会 2,000,000円

(2) 主な事業内容

ア 家畜疫病予防事業

法定伝染病予防対策として、次の予防接種を行い、伝染病の発生を未然に防いだ。

(ア) IBR予防接種

4酪農家の乳牛104頭に六種混合を接種した。

(イ) 鶏のマレック・ニューカッスル病予防接種

2養鶏農家の13,800羽に接種した。

イ 畜産公害対策事業

畜産経営が安心して営めるように、畜産農家(5戸)が希望する畜舎消毒用等の薬剤を一括購入し、ハエや蚊などの発生を軽減させ畜舎の環境衛生に努めた。

ウ 農業後継者育成対策事業

将来の農業のあり方・多様化した農業の諸問題について、農業後継者部が中心となって「魅力ある農業」の研究、後継者家族間の情報交換をするため、家族交流会を実施し交流を深めた。

エ 農畜産物生産技術育成事業

優良牛品種改良研究

泌乳能力の優れている種牛の凍結精液を導入し、品種改良による乳量増大を目指すことで経営の安定を図った。

オ 先進地視察研修等事業

部会等	開催日	内容
振興会	令和元年 8月28日	「赤城フーズ(株)」等視察 群馬県前橋市
農産物 生産部	令和元年 9月27日	「NOBUファーム」視察 青梅市
	10月10日	「第9回農業ワールド」視察 千葉県幕張メッセ
	11月 2日	「東京都農業祭」視察 明治神宮
	令和2年 1月29日	「第69回関東東海花の展覧会」出品 池袋
	2月 7日	「男女共同参画フォーラム」参加 立川市
	2月19日	「カネコ種苗株式会社等」視察 群馬県伊勢崎市
後継者部	令和2年 1月15日 ～1月16日	「そらの駅そ・ら・ら」「行方ファーマーズヴィレッジ」「(株)武蔵野種苗」及び「ポケットファームどきどき」 茨城県

カ 農業振興対策事業

市農業の発展と都市との調和を考え、市民に「あきる野農業」をPRするとともに、農業者自身も幅広い知識を習得した。また、農業者相互の連携を密にすることで、農業振興を図った。

(ア) 第25回あきる野市産業祭参加 令和元年11月9日、10日

- a 農産物品評会 出品点数285点
- b たい肥の無料配布 先着150人
- c 仔牛の写生会 参加者100人
- d のらぼう菜苗の無料配布 各日先着100人
- e おやき・さつまスティックの販売

(イ) 立毛審査会の実施

- a 令和元年 6月13日 対象作物「キュウリ」 参加者5人
 - b 11月14日 対象作物「ブロッコリー」 参加者6人
- (ウ) 農業用資材の調査研究
環境に優しい農業資材（生分解性マルチフィルム）の調査研究
- (エ) 農産物盗難防止活動 令和元年6月10日から9月30日まで
盗難防止看板の設置及びパトロール
- (オ) 講習会の実施 令和元年7月11日
テーマ 「病虫害対策について」 19人参加
- (カ) 農業振興会だよりの発行 年3回発行（6月、9月、1月）

13 田園景観保全事業

引田地区の水田にレンゲソウの種子を蒔き、景観整備を行った。

14 農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積事業

利用権の設定

- (1) 件数 21件（35筆）
- (2) 面積 28,556㎡
- (3) 契約期間 3年～10年

15 「革新的技術開発・緊急展開事業」（野生鳥獣対策コンソーシアム）

農林水産省の研究開発支援事業である「革新的技術開発・緊急展開事業」として採択された「ドローンを活用した野生鳥獣の生息状況把握及び農作物被害防止方策等に関する研究」に取り組む「野生鳥獣対策コンソーシアム」（ドローン関連企業、市、（一社）大日本猟友会、研究機関等により構成）の最終年度として、市内の西部山間地域の農作物被害を把握するため調査等を行った。

16 新規就農者提案型農業経営支援事業

市内で新たに農業経営を始める農業者に対し、農業経営を行うために必要な施設、機械等の購入に要する経費の一部について補助を行った。

1戸の新規就農者が、新たな担い手候補として営農開始することができ、農業経営者の育成を進めることができた。

- (1) 補助対象者 新規就農者 1戸
- (2) 補助事業の内容 ハンマーモア、エンジンポンプ一式
- (3) 補助金額 396,135円

17 あきる野市農業次世代人材投資事業

国の農業次世代強化総合支援事業実施要綱に基づき、農業従事者の減少及び高齢化に対応するため、経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、あきる野市青年就農給付金を支給した。

- (1) 補助対象者 新規就農者 2戸
- (2) 補助金額 3,000,000円

18 魚道維持管理事業

「魚が常に溯上、降下できる河川」を実現するために、秋川漁業協同組合等の関係団体・機関が現状における管理上の問題点や課題に係る情報を共有しつつ、魚道の維持管理を行った。

番号	件名	金額(円)
1	魚道維持管理委託 下代継堰内	297,000
2	魚道維持管理委託 引田堰内(用水部)	288,475
3	魚道維持管理委託 小庄堰内	297,440
4	魚道維持管理委託 引田堰内(魚道部)	298,100
5	魚道維持管理委託 南郷堰内	276,100

19 都市農業活性化支援事業

意欲のある農業者に対して都市の有利性を活かした農業経営力を強化するため、施設や農機具等の導入を支援し、地域農畜産物の生産性、品質の向上、高付加価値化を実現した。また、市民等に新鮮で安全な農畜産物を1年間通じて供給することで、地産地消型農業を推進した。

- (1) 補助対象者 市内農家4戸
- (2) 補助事業内容 堆肥舎1棟、配電盤工事一式、固液分離機1基、スキッドステアローダー3台、イチゴベッド加温システム2か所
- (3) 補助金額 22,578,000円

20 新規就農者定着支援施設整備事業

「東京の農業」を担うことが期待される新規就農者に対し、就農に必要となる施設や農業用機械等の導入を支援することで、早期に安定した経営の開始ができるようにした。

- (1) 補助対象者 市内農家1戸
- (2) 補助事業内容 ハウス1棟、トラクター1台、アタッチメント1式、ネギ皮剥き機1台、ネギ根葉切り機1台、ネギ管理機1台、定植機1台
- (3) 補助金額 12,928,000円

農林課 林務係

1 市有林整備事業

市が直接管理している森林の保育・管理等を計画的に実施した。

- (1) 面積 5.10ha
 (2) 事業費 3,304,815円

施 業 場 所	面積 (ha) 等	内 容
あきる野市戸倉地内	2.40	間伐工、除伐工
あきる野市乙津地内	2.30	間伐工、除伐工
あきる野市高尾地内	0.40	大刈工

2 林道事業

林業生産基盤強化のため、林道の開設、改良を進めるとともに、市が管理する全15路線でおおむね1か月に一度は安全点検を行い、必要に応じて路側の草刈りや側溝の清掃等の維持管理を実施した。また、台風19号の影響で損壊した林道の応急補修を実施した。

工 事 件 名	工 事 内 容	工 事 費 (円)
林道維持補修工事 (林道宝沢線外2路線)	法面補修工事等1.0式	4,791,840
林道応急補修工事 (林道南沢線外6路線)	路面補修工事等1.0式	26,600,200

3 森林再生事業

木材価格の低迷等によって林業の採算性が低下し、手入れが行われず、荒廃が進んでいるスギ・ヒノキの人工林について、3割間伐を実施した(現地確認実施)。

- (1) 協定書締結件数 38件
 (2) 実施面積 58.60ha
 (3) 事業費 48,709,770円(東京都負担)

4 枝打ち事業

過去に森林再生事業(間伐)を実施した森林について、枝下から一律4.0mの枝打ちを実施した。

- (1) 承諾者数 13人
 (2) 実施面積 9.30ha
 (3) 事業費 16,689,714円(東京都負担)

5 森林計画関係

- (1) 森林整備推進協議会開催 1回
 (2) 森林経営計画認定及び変更認定 16件
 (3) 森林経営計画認定同意及び変更認定同意(属人計画) 4件
 (4) 森林経営計画認定区域外伐採届(森林法第10条の8)処理 49件
 (5) 森林経営計画認定区域伐採届(森林法第15条)処理 11件
 (6) 保安林内間伐届(森林法第34条)受理通知処理 10件
 (7) 森林の土地の所有者届出書受理及び通知 3件

6 採石事業関係

- (1) 採石生産量報告書受理件数 24件(2社)
- (2) 採石場パトロール 令和元年11月19日実施(2か所)

7 治山事業

- (1) 治山工事協議(現地確認) 11件
- (2) 治山工事に伴う測量設計・調査等(東京都施工) 2件
- (3) 治山工事(東京都施工) 1か所(戸倉地内)

8 他自治体等との連携事業

- (1) みなと区民の森・みなと森と水ネットワーク会議
 - ア みなと区民の森調整連絡会開催(新型コロナ対策のため中止)
 - イ みなと区民の森環境学習(間伐体験・生き物観察)開催 18回
 - ウ みなと森と水ネットワーク会議開催 2回
 - エ みなとモデル二酸化炭素固定認証制度事業者追加登録件数 1件
 - オ みなとモデル二酸化炭素固定認証書発行件数 0件
- (2) 新宿の森 あきる野
「新宿の森 あきる野」自然体験ツアー(台風19号の影響のため中止)
- (3) サントリー天然水の森奥多摩
 - ア 間伐 2.43ha
 - イ 作業歩道改修工事 566m
 - ウ その他 植生調査、危険木伐採等

9 森林環境保全事業

森林環境譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく森林整備や多摩産材の利用促進等に係る事業を実施した。

- (1) 地域林政アドバイザーの雇用
市内の森林や森林整備事業の精通者を雇用し、職員や事業者に対する助言や森林経営管理制度の運用に向けた現地調査等を実施した。
 - ア 人数 1人
 - イ 出勤日数 120日
- (2) 多摩産材の利用促進等
事業者と連携して作成したPRパンフレットを都内の自治体に配付した。
 - ア 部数 500部
 - イ 配付自治体数 47区市町
- (3) 森林クラウドシステムの活用
近隣市町村とともに東京都森林GISクラウドシステムを利用し、森林整備事業や林地台帳の運用に活用した。
 - ア 利用自治体数 6市町村
 - イ 閲覧・写しの交付件数 0件

1 商工業振興事業

商工会への補助により、市内商工業の改善や発展が図られたとともに、商店街への補助及びイベント開催支援を通じ、市内商工業の振興に資した。

また、市内事業所への融資及び利子補給事業を通じ、市内中小企業の振興及び経営改善に資した。

(1) 商工振興補助事業

ア 商工会補助事業

あきる野商工会 商工会事業補助額 25,650,000円

イ あきる野活力みなぎる交付金

(ア) 住宅改修助成事業 商工会事業補助額 10,000,000円

個人住宅の改修工事等の一部を助成することで、事業者の利用促進とともに、住民サービスの向上や地域資産の充実を図ることで、需要の喚起を促し、景気を刺激し、地域経済の活性化に寄与することを目的として実施した。

- a 申請件数 272件
- b 完了済件数 272件
- c 施工事業所数 51社
- d 総合計請負金額 323,425,313円
- e 助成金額 14,825,000円

(イ) ご当地グルメ情報発信事業 商工会事業補助額 500,000円

包括的な相互協力・連携に関する協定を締結している学校法人明星学苑明星大学の学生による「東秋留 グルメマップ」の作成を支援し、新聞折り込みや駅・店舗への設置により地域内外に広く情報発信を行い、地域産業の更なる振興を図った。

ウ 創業就労支援補助事業 商工会事業補助額 14,300,000円

あきる野創業・就労・事業承継支援ステーションBi@Sta(ビスタ)を活用し、創業、就労、事業承継に係る相談業務を中心とした支援を実施し、市内商工業者の振興と就労希望者への情報提供を図った。

(ア) 相談実績 726件(うち創業相談246件、就労相談52件、事業承継相談5件)

専門相談員(中小企業診断士)による創業・事業承継相談のほか、ハローワーク青梅の職員による月1回の就労相談会(相談実績17件。うち時間限定で子育てひろば「こころの」での就労ミニ相談会の相談実績は11件)を実施した。

(イ) 創業実績 21件

(ウ) 創業塾 令和元年9月28日から10月26日まで(全5回) 参加者16人

(エ) チャレンジショップ利用実績 12件

(オ) スモール・オフィス利用実績 36件

(カ) ミニセミナー 平成31年4月から令和2年2月まで(全11回) 参加者26人

(キ) 第2回あきる野まちゼミへの参加 令和元年8月8日、24日(全2回) 参加者10人

(ク) Bi@Staマルシェ 令和元年11月16日 出店者9団体

(ケ) 子育て世代女性向け就労・創業支援セミナー 令和元年11月25日 参加者5人

(コ) ミドルシニア向け就労・創業支援セミナー 令和2年1月24日 参加者28人

(サ) 事業承継セミナー 令和2年2月18日 参加者23人

(シ) Bi@Sta利用者・創業者交流会 令和元年12月7日 参加者41人

(ス) 図書館セミナー 令和2年3月26日開催予定であったが、新型コロナ対策のため中止
エ 商店街振興補助事業

(ア) イベント事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商店会名	事業名	補助額(円)
あきる野商店会連合会	あきる野商店会連合会お花プレゼントセール	446,000
	あきる野商店会連合会感謝祭	430,000
秋川駅北口会	秋川駅北口会フェスティバル	912,000
	あきる野ウィンターフェスティバル	594,000
原店商店会	原店ナイトバザール	704,000
	原店歳末セール	222,000
野辺商興会	ワッシュョイ・ワッシュョイセール	398,000
五日市商和会	お中元売出し	334,000
	歳末大売出し&イルミネーション	265,000
多西商栄会	感謝セール	117,000
	歳末感謝セール	126,000
増戸商栄会	増戸ますます市	956,000
秋川駅南口商店会	さくらまつりセール	598,000
	ウィンターフェスタ	444,000
二宮商栄会	令和記念大売り出し	332,000

(イ) 活性化事業（東京都商店街チャレンジ戦略支援事業費補助金併用、市補助含む。）

商店会名	事業名	補助額(円)
増戸商栄会	統一看板リニューアル事業	660,000
二宮商栄会	ホームページ作成事業	288,000

オ 商店街装飾灯補助事業（装飾灯の維持管理経費に対する補助）

商店会名	基数	補助額(円)
原店商店会	LED 33	66,000
東秋留北口商栄会	LED 20	40,000
五日市商和会	LED 80	160,000

カ 夏まつり補助事業

開催日	令和元年8月3日
場所	JR秋川駅北口大通り周辺
来場者数	約37,000人
補助額	3,373,773円（第17回あきる野夏まつり運営委員会補助）

キ ヨルイチ補助事業

開催日	令和元年8月31日
場所	檜原街道沿いの地域（JR武蔵五日市駅～小中野交差点）
来場者数	約15,000人
補助額	676,000円（第17回ヨルイチ実行委員会補助）

ク 産業祭補助事業

開催日	令和元年11月9日、10日
場所	都立秋留台公園
来場者数	約51,000人（1日目25,000人、2日目26,000人）
補助額	5,734,870円（第25回あきる野市産業祭運営委員会補助）

ケ プレミアム商品券事業 70,201,155円

（内、商工会事業補助額 50,764,163円）

消費増税による消費の一時的な落ち込みを防ぐため、一般商品券「A券・B券」と併せて、

特別商品券「C券」（国の低所得者及び子育て世帯向けのプレミアム付商品券事業であり、プレミアム付商品券事業費補助金及び事務費補助金を活用）を発行することにより、地域住民等の生活支援を行うとともに消費刺激による景気浮揚を図り、地域経済の活性化に寄与した。

(ア) 商品券の概要

商品券の名称	秋川溪谷プレミアム付商品券
使用期間	令和元年10月1日～令和2年2月14日
取扱店舗数	455店舗（一般店417店、大型店38店）

(イ) 15%プレミアム付 一般商品券「A券・B券」

購入対象者	あきる野市の在住・在勤者
内容	500円の商品券23枚綴り11,500円分を1冊10,000円で販売
商品券の内訳	A券13枚（取扱店全店で使用可能） B券10枚（大型店で使用不可）
発行冊数	17,000冊
販売実績	17,000冊 170,000,000円（1冊10,000円）
発行総額	195,500,000円
販売期間	令和元年10月1日～令和元年10月9日
高齢者等への先行販売	令和元年9月17日～令和元年9月21日 （1,565冊販売）
商品券の回収率	194,836,000円（99.7%） 一般店 118,454,500円（60.8%） 大型店 76,381,500円（39.2%）

(ウ) 25%プレミアム付 特別商品券「C券」

購入対象者	非課税者及び3歳未満の子どもがいる世帯の世帯主
内容	500円の商品券10枚綴り5,000円分を1冊4,000円で販売
商品券の内訳	C券10枚（取扱店全店で使用可能）
購入引換券交付決定数	6,333人 非課税者 4,410人（申請人数4,448人、不交付人数38人） 子育て世帯主 1,893人 転入者 30人
発行冊数	70,675冊（想定される対象者が限度額まで購入できる冊数を用意）
販売実績	21,418冊 85,672,000円（1冊4,000円）
発行総額	107,090,000円
販売期間	令和元年10月1日～令和2年1月31日
商品券の回収率	106,685,500円（99.6%） 一般店 21,851,500円（20.5%） 大型店 84,834,000円（79.5%）

(2) 中小企業振興資金融資及び利子補給事業

ア 融資件数 38件

イ 融資額 193,200千円

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	111	410,074
下半期	122	487,316

ウ 保証料助成額 開業資金 3件 320,325円

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給

	利子補給件数	利子補給額（円）
上半期	226	5,087,618
下半期	229	5,453,100

2 地域産業活性化事業

地域経済力の強化を目指し、商工業、観光等全ての産業の効果的な振興を図るため、市民と協働で活性化事業を実施した。

(1) 秋川駅周辺地区産業活性化戦略委員会

ア 会議 9回開催

イ 実施事業

(ア) イルミネーション事業

イルミネーションの設置を通じ、秋川駅周辺地区への誘客及び活性化に寄与した。

設置場所・点灯期間

秋留野広場 令和元年12月7日から令和2年1月13日まで

秋川駅南口ロータリー 令和元年10月24日から令和2年1月31日まで

秋川駅北口ロータリー・駅前大通り 令和元年12月7日から令和2年1月31日まで

(イ) 秋川駅周辺地区まちづくり推進事業

包括的な相互協力・連携に関する協定を締結している学校法人明星学苑明星大学との協力によるハロウィンスタンプラリー事業（秋川駅南口）及びあきる野プラネットカフェ事業（あきる野ルピア）を実施することで、秋川駅周辺地区の活性化及びまちづくりの推進に寄与した。

(2) 五日市活性化戦略委員会

ア 会議 9回開催

イ 実施事業

(ア) 第4回秋川溪谷雛めぐり事業

令和2年2月8日から3月8日まで、JR武蔵五日市駅及び武蔵増戸駅周辺の商店や公共施設等にお雛様等を展示し、五日市地区の魅力発信及び来訪者の増加による地域活性化を図った。

(イ) まちづくり推進事業

建築改修に必要な知識や手続き、活用事例などを学ぶことを目的とした空き家・空き物件活用勉強会を行い、空き物件のオーナーや開業予定者に対する物件の活用促進と空き店舗活用による地域再生に向けたイメージづくりに寄与した。また、雛まつりを活用したまちおこしの事例について、飯能市や瑞穂町の視察を行い、今後の雛めぐりへ応用していくための調査研究の機会とした。

(3) 養沢活性化委員会

ア 会議 7回開催

イ 実施事業

(ア) ライトアップ事業（地域内の桜、もみじをライトアップ）

(イ) 景観整備事業（ミツバツツジの植樹、伐採）

(ウ) 果樹園整備事業（ブルーベリー畑の草刈、ブルーベリー販売、新商品（柚子胡椒）の試作）

(エ) ホタル育成事業（カワヒナを増やす活動、令和元年6月30日にホタルの夕べ開催、ホタル飼育技術講習会への参加）

(オ) 空き家対策事業（今後の空き家活用を検討し、空き家の調査やパンフレットを作成、配布した。）

3 中小企業信用保険法の規定に基づく認定事業

特定の要件により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、信用保証協会による補償限度額の別枠化等を行うことにより、市内企業の経営安定化に寄与した。

- (1) 突発的災害（自然災害等）地域認定（法第2条第5項第4号） 45件
- (2) 業況悪化業種認定（法第2条第5項第5号） 2件

4 大規模小売店舗立地法に基づく届出

令和元年度は大規模小売店舗立地法に基づく届出はなく、市内における大規模小売店舗の出店や変更等の動きは見られなかった。

5 砂利採取法に関する意見調整

秋川の河川保全区域を含む土地における砂利採取計画については、砂利採取法の規定に基づき、都から砂利採取事業者が平成31年4月1日から令和3年3月31日まで認可（更新）を受けており、当該事業者が砂利採取を継続しているため、今年度は意識調査を行わなかった。

- (1) 新規砂利採取件数 0件
- (2) 継続砂利採取件数 0件

6 市民ローン貸付に伴う保証機関保証料補助

市民が生活の安定を図るために、臨時的に支出する資金について融資をあっせんする体制を整えている。相談件数が2件あったが、申請には至らず融資実行はなかった。

近年、国や都による教育の無償化や医療費の助成、そして公的な類似制度による貸付が行われていることから、令和2年3月31日をもってあきる野市市民ローン制度を廃止した。

相談件数	申請件数	融資実行件数
2件	0件	0件

7 消費者行政関係

消費者相談の実施を通じて消費者トラブルや被害の解決を図った。また、講座や啓発事業の実施により、市民の消費者被害防止や消費生活の向上に寄与した。

- (1) 消費者相談 ア 開催日数 92日 イ 相談件数 172件
- (2) 消費生活講座

開催日	講座名	受講者数
令和元年 8月20日	夏休み子ども消費生活講座 「知ろう地域の名産品！～『あきる野の匠』が教える！しょうゆづくりとMYしょうゆづくり体験～」	23
11月27日	消費生活講座 「すっきり暮らす ものとの付き合い方」	21
12月19日	小宮ふれあい交流事業	12

- (3) 消費者啓発

ア 産業祭会場での消費者トラブル・被害防止啓発用冊子等の配布

(ア) 実施日 令和元年11月9日

(イ) 場所 産業祭会場内（都立秋留台公園）

(ウ) 内容 消費生活相談員による消費生活相談窓口のPR及び消費者被害防止啓発を目的に啓発用冊子等を配布した。

イ 成人式出席者への消費者被害防止啓発リーフレット（若者用）配布

ウ 広報「あきる野」への消費生活情報掲載

「くらしの知恵袋～消費生活相談情報～」と題し、月1回、消費者被害防止や消費生活に資する情報を掲載した。

エ 消費者被害防止啓発パンフレットの作成と配布

「覚えてください！消費者トラブルは消費者ホットライン188に相談！！」を作成し、令和2年3月6日から13日までの間に全戸配布し、周知・啓発を行った。

(4) 西多摩地域消費者行政事務連絡会・西多摩地域広域行政圏消費生活相談広域連携連絡会議

西多摩地域8市町村（青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、奥多摩町、檜原村）における消費者行政の円滑な推進及び相談広域連携の円滑な運営を図ることを目的とし、消費生活講座の共同開催や消費生活相談の相互受付を実施した。

令和元年度は、連絡会4回、講座2回を羽村市にて実施した。

開催日	講座名	受講者数
令和元年11月26日	「キャッシュレス時代を賢く生きる方法 ～スマホ決済など多様化する決済方法とキャッシュレス化の基礎を学ぶ～」	49
令和2年2月14日	「エコクッキング～熱源と材料を無駄なく使う～」	13

8 第25回あきる野市民まつり実行委員会

あきる野市民まつり実行委員会を設置し、市民まつりの計画と実施の運営を円滑に行った。

事務担当者会議 令和元年7月4日

9 労働行政関係

ハローワーク、東京しごとセンター多摩と共催でセミナーを実施し、市民の就職活動を支援した。また、就労支援に係る情報を広報やホームページに掲載し、市民へ就職に資する情報を伝えた。

(1) あきる野ハローワーク求人情報コーナー

ア 来所者 11,831人（求職者 11,776人、求人者 55人）

イ 就職者 729人

(2) 労働セミナー及び面接会

ア 中高年齢者就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	テーマ	受講者数
令和元年7月12日	効果的な再就職活動をするために	48
令和2年1月24日	Bi@Sta共催 就労・創業支援セミナー	28

イ 面接会（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	参加企業数（社）	当日面接人数	採用人数
令和元年7月12日	2	3	1
令和2年1月24日	6	6	2

ウ 就職支援セミナー（ハローワーク青梅との共催事業）

開催日	コース	参加者数
令和元年5月27日	面接対策（座学）	9
6月24日	自己理解・職業理解（座学）	39
7月29日	応募書類の書き方（座学）	36
8月26日	面接対策（座学）	38
9月30日	自己理解・職業理解（座学）	36
10月28日	応募書類の書き方（座学）	31

11月25日	面接対策（座学）	12
12月16日	自己理解・職業理解（座学）	28
令和2年 1月27日	応募書類の書き方（座学）	23
2月17日	面接対策（座学）	21
合計		273

エ 就職面接会（東京しごとセンター多摩との共催事業）

開催日	参加企業数	当日面接人数	採用人数	開催場所
令和元年 8月 9日	10	47	3	福生市
9月13日	20	87	5	職業能力開発センター
9月25日	11	67	8	八王子市

10 五日市ひろば利用状況

五日市ひろばを市民の交流の場として開放することで、商店街の振興と地域産業の総合的な発展を図った。

利用件数	使用料				使用日数	利用人数
	件数	徴収分（円）	件数	減免分（円）		
35	20	40,000	15	107,200	116	12,176

11 青梅線沿線地域産業クラスター協議会

J R 青梅線、五日市線及び八高線沿線地域の企業を有機的なネットワークで結び付け、取引、連携、協働、協業及び健全な競争を促進することにより、地域産業の振興に寄与した。

(1) 会議 運営協議会 1回 事務局会議 4回 ワーキンググループ 3回

(2) 事業

ア 研修事業

(ア) 新入社員研修（全3回、延べ122人）

(イ) 中堅社員研修（全3回、延べ128人）

(ウ) 管理監督者研修（全2回、延べ35人）

イ 人材確保支援事業

中途採用向け合同企業説明会（都立多摩職業能力開発センター）

(ア) 開催日 令和元年9月13日

(イ) 参加企業数 20社

(ウ) 参加者数 87人

ウ 企業視察見学会

(ア) 開催日 令和元年11月12日

(イ) 視察場所 株式会社N I S S Y O（羽村市）

(ウ) 参加者数 33人

エ ポータルサイト運営事業 掲載企業数45社

12 食品放射性物質検査事業

業者委託により検査を実施し、消費者の食に対する安心・安全の確保に寄与した。

平成23年3月から令和2年3月まで延べ5,409検体の検査を実施し、検査結果において、国の基準値を超える検体が1件も検出されていないことから、令和2年3月31日をもって検査を

終了した。

- (1) 検査内容 食材中の放射性物質（セシウム134とセシウム137）の濃度を測定
- (2) 実施期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
- (3) 検査対象 市内小中学校・保育園・幼稚園・農産物直売所
- (4) 検査検体数 307検体
- (5) 検査結果 不検出 307件 検出 0件

※ 検出限界値（各測定における検出可能な最小数値のこと）未満の場合には不検出となる。

13 あきる野市商店街振興プラン行動計画（あきる野市商店街振興プラン行動計画連絡会）

あきる野市商店街振興プラン行動計画について、商店会長、各支援機関と連携して、連絡会を開催した。

開催状況 連絡会 2回開催

14 東京都商店街リノベーション支援事業（五日市商和会）

東京都の商店街振興施策である「東京都商店街リノベーション支援事業」の支援商店街として採択された五日市商和会について、イベント実施や空き店舗等の活用を含めた市街地再生の取組への支援を行った。Bi@Staとの連携により、開業希望者への物件紹介や改修アドバイス等を行い、スムーズな開業をサポートしたほか、開業後の地域イベントへの参加支援を行い、地域との繋がりの創出及び商和会員への加入促進に寄与した。

- (1) 会議 ア 定例会議 8回開催 イ まちづくり検討会議 8回開催

(2) 実施事業

ア 五日市まちづくり通信の発刊 12回

イ 五日市ほしぞらシネマ！実行委員会と連携したイベントの実施

(ア) 五日市ほしぞらシネマ！【夏編】 令和元年 6月 1日 参加者 400人

(イ) 五日市ほしぞらシネマ！【秋編】 11月16日 参加者 20人

(ウ) 五日市ほしぞらシネマ！【冬編】 12月14日 参加者 30人

ウ 水無月祓い及び南沢あじさい山のイベント連携支援

阿伎留神社内に南沢あじさい山の紫陽花を浮かべた紫陽花手水舎を設置したほか、五日市エリアの紫陽花マップを制作し、あじさい山行きのバスに設置することで、観光客のまちなか回遊を促進した。

15 栗原市民まつりへの参加

友好姉妹都市である宮城県栗原市において、令和元年8月31日に開催された「令和元年栗原市民まつり」に参加し、あきる野市の特産品のPR等を行った。

16 生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定

中小企業の先端設備等導入計画を認定することで、固定資産税の軽減措置等の支援を実施し、中小企業の労働生産性の向上に寄与した。

- (1) 先端設備等導入計画の認定を受けた事業者 11事業者
- (2) 提出済みの先端設備等導入計画を変更した事業者 6事業者

17 まちゼミ支援事業

商店主が講師となって、専門知識やプロならではのコツを無料で受講者に提供する少人数制のゼミであり、お店の特徴や店主のこだわり、人柄を知ってもらうことで、受講者と信頼関係を築いてもらうことを目的とした商店街の活性化事業である「まちゼミ」を、あきる野商店会連合会が主体となり、市やあきる野商工会と連携しながら、周知等の支援を行った。

- (1) 実施期間 令和元年8月1日から31日まで
- (2) 参加店舗 43店舗
- (3) 開催講座 56講座
- (4) 参加者 519人

1 秋川溪谷観光推進事業

秋川溪谷を活用した観光推進を図るとともに、五日市地域の自然、歴史文化などの地域資源を活用した地域振興策を展開し、観光客の誘客と地域の活性化を図ることができた。

観光客の受入れに際し、観光ボランティアガイドの活発な活動により、おもてなし体制を確立することができた。

(1) 観光ボランティアガイド事業

武蔵五日市駅前において、4月から11月まで（8月及び9月を除く。）の土曜日、日曜日及び祝日の午前中に、観光ボランティアガイドによる観光案内を実施した。

ア 案内日数 合計50日

イ 案内件数 33組79人

ウ 秋川溪谷観光情報コーナーでの観光案内 4,583人

エ 観光ボランティアガイド研修会 3回開催（令和元年7月8日、9月13日、11月22日）

(2) 観光客誘致促進事業

ア 市主催事業

(ア) きく・かく・えがく～東京のふるさと・自然公園～

開催日	令和元年8月25～27日（聞き書き体験）、11月24日（成果発表会）
場所	自然休養村 山溪（聞き書き体験）／戸倉しろやまテラス（成果発表会）
内容	都内の中学生が東京の自然公園のエリアの名人（あきる野の匠など）から知恵や技術、生き方などについて「聞き書き」し、成果を発表した。成果発表会では、延べ205人が来場し、観光客の増加及び郷土愛の醸成を図ることができた。

(イ) 第35回あきる野映画祭

開催日	令和元年7月20日、26日、27日、28日
場所	まほろばホール、五日市会館
内容	西多摩地区にゆかりのある公募作品の上映、独立行政法人国立美術館国立映画アーカイブが所蔵する映画フィルムのパブリック上映（優秀映画鑑賞推進事業）、あきる野映画祭実行委員会が選定した一般作品を上映した。大自然の中で育まれた歴史や文化を知らしめるとともに、市の文化の質的向上と観光振興を図ることができた。

イ 市後援事業

開催日	事業名
平成31年 4月 6日	第11回ハセツネ30K大会 春のグリーンフェスティバル
平成31年 4月15日 ～令和2年2月21日	多摩シビックプライド
令和元年 6月8日～7月7日	秋川溪谷あじさいまつり
6月26日	百万本のアジサイプロジェクト
10月13日、14日	第27回日本山岳耐久レース（台風19号のため中止）
10月19日、20日	秋川クラフトマーケット 2019年 秋市
11月30日	秋川流域花火大会
令和2年 1月1日～3日	武蔵五日市七福神巡り
2月16日、22日	秋川“四季の奏で”音楽会/秋川クリーンアップ活動
3月22日	あきる野の奏で in 秋川橋河川公園バーベキューランド（新型コロナ対策のため中止）
3月29日	第12回ハセツネ30K大会（新型コロナ対策のため中止）

(3) 広域観光まちづくり事業（市町村実施事業）

ア あきる野・日の出・檜原地域観光まちづくり推進協議会事業

あきる野市、日の出町及び檜原村の協働事業として、3市町村の観光の魅力を紹介して誘客に結びつけるPR用ポスターの秋号及び春号について、それぞれB1サイズ600部、B2サイズ300部の計900部を作成し、JR東日本首都圏（東京、横浜、大宮、八王子及び千葉支社エリア）管内の主要駅及び市内各所に掲出・宣伝した。

イ 秋川流域観光フェアの開催

あきる野市、日の出町及び檜原村の協働による観光客誘致を目的としたイベントを実施した。

開催日	令和元年5月11日、12日
場所	イオンモール日の出 1階メインコート
内容	観光パンフレットの配布、森っこサンちゃんのグリーティング、特産品販売

(4) 秋川渓谷Wi-Fi整備

公衆無線LAN「Akigawa Keikoku Free Wi-Fi」について、サービスを提供する民間事業者を募集し、4店舗でサービスを提供している。

アクセス回数（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

14か所合計 90,669アクセス

(5) 観光用デジタルサイネージ整備

多言語対応のデジタルサイネージ（電子看板）について、季節ごとの観光PR動画の配信やイベント告知等に活用し、観光情報を発信した。

令和元年台風19号の影響により市内道路及び観光ルートに通行止めが生じた際には、これらの情報を集約し、災害に関する情報を発信した。また、新型コロナ対策のため観光施設等が休館した際にも、同様に情報を発信した。

(6) 広域連携事業

ア 「高尾山・リニア」地区広域連携事業

八王子市、大月市、都留市、相模原市及びあきる野市（以下「連携5市」という。）の5市で連絡会を組織し、欧米豪を中心とした訪日外国人旅行者の誘客促進を図った。

今年度は、英語版観光情報ポータルサイト及びSNSの運用を開始し、連携5市への誘客に繋げた。

(ア) 観光情報ポータルサイトの運用

連携5市の英語版観光情報ポータルサイトの運用を開始した。

(イ) 外国人モニターによるモデルコース作成

外国人モニターを招へいし、外国人にニーズの高い体験プログラムについて、連携5市の各市においてワークショップを実施し、参加者からの評価を踏まえて日帰り及び1泊2日のモデルコースを作成した。

(ウ) プロモーションツールの作成

連携5市の特色を活かしたロゴ「TOKYO WESTSIDE」を使用したエコバッグを作成した。

(エ) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運用

Facebook及びInstagramを活用し、連携5市が各市1回ずつの計5回投稿した。

(オ) 英語版パンフレット及びポスターの配布及び掲出

観光客の周遊につなげることを目的として、平成30年度に作成したパンフレット及びポ

スターについて、引き続き配布及び掲出した。

(カ) プロモーションイベントの実施

国内の主要ゲートウェイである成田空港にて、外国人観光客をターゲットとしたプロモーションを実施し、来訪者に対するアンケート及び集計・分析を行った。

開催日	令和2年1月18日、19日
場所	成田国際空港 第1旅客ターミナル到着階
参加者	八王子市、大月市、都留市、相模原市、あきる野市、受託事業者など
内容	英語版観光パンフレットの配布、外国人観光客へのアンケート調査、プロモーション動画の放映、5市特産品の試飲及び試食など
配布物	連携5市の観光パンフレット（英語版）、（オ）の観光パンフレット（英語版）、その他各市の特産品等

イ 秋川渓谷観光経済統計調査事業

あきる野市、檜原村、あきる野商工会、あきる野市観光協会、檜原村観光協会及び秋川渓谷旅館組合で連絡会を組織し、あきる野市及び檜原村における観光産業がもたらす経済効果等を把握するための調査を行った。また、秋川渓谷観光経済統計調査事業連絡会を開催し、調査報告及び意見交換を行った。

(ア) 観光地点入込客数調査

国内外の旅行者が秋川渓谷を訪問した実態を調査し、観光が地域経済に与える効果を計量的に把握するため、主要観光施設、行祭事・イベント数及び宿泊施設の調査を実施した。

(イ) 観光地点パラメータ調査

観光地点を訪れた来訪者の属性、一人当たりの消費額、訪問地点数及び満足度について把握するため、四半期ごとに対面式の調査を実施した。

(ウ) 域内調達率調査（経済波及効果の算出及び分析）

観光客などによる秋川渓谷内での消費が、秋川渓谷内事業所の売り上げや従業員の雇用などにどのような効果を及ぼしているか把握するため、観光による経済波及効果について、地域の事業者にアンケート調査を実施した。

(エ) 事業連絡会の実施

令和元年10月29日に第1回連絡会を実施した。なお、令和2年3月下旬に開催予定であった第2回連絡会は、新型コロナ対策のため中止した。

(オ) 事業報告会の実施

(ア)～(ウ)の調査で得られたデータ等を市の様々な施策へ活用してもらうことを目的として、市職員を対象にした事業報告会を実施した。

(7) ふるさと文化創生事業

豊かな自然や歴史に恵まれたあきる野は、時代ごとに様々な分野で活躍する人々を輩出してきた。こうした地域が誇る先人たちの功績を広め、ゆかりの地を観光資源としてPRするために、「あきる野市ゆかりの人パンフレット」及び「五日市憲法草案ゆかりの地を巡るリーフレット」を平成25年度に作成した。令和元年度も引き続き観光キャンペーンや、観光案内所等で配布を重ね、郷土愛の醸成を図ることができた。

ア あきる野市ゆかりの人事業

(ア) あきる野市ゆかりの人展示

開催日 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで（年末年始を除く。）

来場者数 347人

(イ) あきる野市ゆかりの人パンフレットの作成

あきる野市ゆかりの人を紹介するパンフレットを500部作成した。

イ あきる野の匠事業

あきる野の自然、歴史及び文化から生まれ、先代から受け継がれてきた伝統の味、技法、熟練の技術などの承継者を「あきる野の匠」として認定する。

令和元年度は新たに2人の匠を認定した。あきる野の匠12人が手掛ける魅力ある商品及びその商品を生み出す優れた匠の技等をあきる野市の内外を問わず広く発信することにより、商品の需要拡大を図るとともに、匠の技等の承継につなげ、もって観光客の増加及び郷土愛の醸成を図ることができた。

(ア) あきる野市産業祭におけるあきる野の匠のプロモーション実施

開催日	令和元年11月9日、10日
場所	都立秋留台公園
内容	匠の商品の展示、匠の方々による商品等の説明、リーフレットの配布、人物紹介のパネル展示、来場者向けアンケートの実施、

(イ) あきる野の匠パンフレットの作成

あきる野の匠を紹介するパンフレットを作成した。

日本語版 5,500部 英語版 1,000部

(8) デザインマンホール蓋設置・活用等推進事業

市の観光の魅力を満喫してもらえるよう、観光資源を十分に活用した施策を展開する上で、デザインマンホール蓋も観光資源として活用して、観光客誘致及び地域活性化を図ることを目的とし、市内15か所に「森っこサンちゃん」のデザインマンホール蓋を設置した。

2 秋川渓谷観光プロモーション事業

「秋川渓谷の魅力」を伝える観光プロモーションを展開し、秋川渓谷のブランド化を図ることができた。

秋川渓谷を訪れる観光客が利用する交通に係る事業者との連携によって、様々な宣伝媒体で「秋川渓谷」をPRした。また、市内の関係団体との協力体制を強化し、観光プロモーションを展開する基盤づくりを進めることができた。

(1) 民間事業者等との連携による観光プロモーション事業

ア 秋川渓谷観光関係機関連絡会との連携事業

(ア) 観光プロモーションイベント「カワライフ2019－森のめぐみー」の開催

開催日	令和元年9月20日
場所	調布駅前 ラグビーワールドカップ2019ファンゾーン内
参加者	秋川渓谷観光関係機関連絡会(4人)
内容	観光パンフレット等の配布、アンケート調査などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど(500部)

(イ) 観光プロモーションイベント「カワライフ2020－森のめばえー」の開催

開催日	令和2年3月1日から31日まで
場所	東名高速道路足柄SA上り
内容	リーフレットスタンドへの観光パンフレットの配架
配布物	観光パンフレットなど(261部)

イ 一般社団法人日本自動車連盟(JAF)との連携事業

JAFデーの開催

開催日	令和元年6月1日、11月17日
場所	東京サマーランド
内容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーンディング

ウ 東日本旅客鉄道株式会社（JR）との連携事業

（ア）観光キャラバンの実施

JR中央線の駅頭において、森っこサンちゃんのグリーンディングや観光パンフレット等の配布を市内事業者と協働で実施した。

a JR立川駅

開催日	令和元年5月23日
場所	JR立川駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など（25人）
内容	森っこサンちゃんのグリーンディングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど（1,000セット）

b JR八王子駅

開催日	令和元年11月1日
場所	JR八王子駅
参加者	あきる野市観光協会、あきる野商工会、東京サマーランド、秋川溪谷瀬音の湯など（18人）
内容	森っこサンちゃんのグリーンディングや観光パンフレット等の配布などによる観光PR活動
配布物	観光パンフレットなど（2,300セット）

（イ）はいじま駅まつり2019への出店

JR拝島駅において、あきる野市、昭島市、福生市及び瑞穂町の協働による観光客誘致PRを実施した。

開催日	令和元年11月23日
場所	JR拝島駅
内容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーンディング、特産品販売

エ トヨタ西東京カローラ株式会社との連携

秋川溪谷観光プロモーションの一環として、イベント開催支援及び観光PRを目的に、官民協働による事業を実施した。

「わくわくドライブ in あきる野19」への協力

開催日	令和元年10月6日
場所	近藤醸造、みつばちファーム、大岳鍾乳洞、秋川溪谷リバーパーティオなど
内容	市内のドライブ、ワークショップなど
イベント参加者	西東京カローラユーザー103人

オ 西多摩地域広域行政圏協議会主催事業

西多摩地域8市町村の協働による観光客誘致PRを実施した。

「西多摩フェア2019」の開催

開催日	令和元年6月15日、16日
場所	イオンモール日の出 1階メインコート
内容	観光パンフレット配布、森っこサンちゃんグリーンディング、特産品販売

（2）イベント出展等による観光誘客事業

「東京観光情報センター」展示

開催日	令和元年6月3日～16日
場所	都庁第一本庁舎1階 東京観光情報センター
内容	観光パンフレットの配布、ポスター展示、秋川渓谷観光PR映像放映

(3) 観光関係雑誌及び新聞等による紹介・宣伝

各種行事及び市内観光施設等について、雑誌等を利用し、紹介・宣伝した。

媒体	回数
地域情報誌	21
フリーペーパー	37
書籍	7
新聞	2
WEB	32
テレビ	5
ポスター、デジタルサイネージ	5
合計	109

(4) SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ア あきる野市観光情報 Facebook ページ統計データ

(ア) 期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで（366日）

(イ) 投稿回数 101回（1週当たり平均約1.9回投稿）※ 1年間を52週とする。

(ウ) 各投稿の平均閲覧回数 約2,983回（複数回閲覧者含む。）

(エ) 各投稿の合計閲覧回数 301,377回（複数回閲覧者含む。）

(オ) 各投稿の平均閲覧人数 約1,915人（ファン以外を含む。）

(カ) 各投稿の合計閲覧人数 193,482人（ファン以外を含む。）

※ 各投稿の平均は、合計の閲覧回数・閲覧人数から算出

(キ) ファン数 2,818人（令和2年3月31日現在）

※ 平成31年3月31日時点は、2,587人

イ 秋川渓谷LINEアカウント

(ア) 期間 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで（366日）

(イ) ホーム投稿回数 109回（1週当たり平均2.0回投稿）

(ウ) 各発信の平均閲覧回数 約345.7回（複数回閲覧者含む。）

(エ) 各発信の合計閲覧回数 38,671回（複数回閲覧者含む。）

※ 各発信の平均及び合計の閲覧回数・閲覧人数は、投稿・配信日の数字から算出

(オ) 友達数 2,515人（令和2年3月31日現在）※ うち有効友達数1,574人

※ 平成31年3月31日時点は、2,327人（うち有効友達数1,328人）

(5) 観光パンフレット等の作成

「東京のふるさと・あきる野」の魅力を市内外に発信するため、観光パンフレット等を作成した。

ア 秋川渓谷リーフレット（日本語） 春・夏版30,000部、秋・冬版30,000部

イ 秋川渓谷リーフレット（英語） 5,000部

ウ 秋川渓谷総合マップ 40,000部

(6) 秋川渓谷観光デジタルフォトコンテスト

秋川渓谷を中心とした写真を募集し、広く発信する市民参加型のイベントとして、フォトコンテストを2回開催した。また、秋川渓谷の魅力発信のため、応募作品の一部を「秋川渓谷四季リーフレット」の写真データとして使用した。

ア 第10回（春・夏の部）

（ア）応募期間 令和元年6月15日から9月6日まで

（イ）応募作品 48作品

（ウ）受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

イ 第11回（秋・冬の部）

（ア）応募期間 令和元年12月15日から令和2年2月29日まで

（イ）応募作品 81作品

（ウ）受賞 金賞1点、銀賞1点、特別賞2点

（7）秋川溪谷ロゴマークの活用

「東京のふるさと・あきる野」の実現に向けた観光まちづくりの取組として、秋川溪谷を広くPRするため、秋川溪谷ロゴマークを定め、活用を図った。

ア ロゴマークの使用承認

団体・事業者が商品等に掲載した。

（ア）使用申請 2件 （イ）使用承認 2件

イ 啓発用品の掲出・配布

ロゴマークを刷り込んだ啓発用品を掲出・配布した。

（ア）のぼり旗・ミニのぼり旗 公共施設、観光施設等に掲出

（イ）ステッカー イベント等で配布、市庁用自動車に貼付

（ウ）マグネットシート 市庁用自動車に貼付

（エ）秋川溪谷ロゴ入りポロシャツ 64枚作成

（8）「森っこサンちゃん」LINEスタンプ製作

LINEアカウント「秋川溪谷」を活用し、秋川溪谷観光プロモーションを推進するためLINEのコンテンツであるスタンプ内で、森っこサンちゃんのオリジナルLINEスタンプを販売した。

ア LINEスタンプ販売数 令和元年度 133ダウンロード（4,489円）

イ LINEスタンプ使用数（受信総数） 令和元年度 69,327件

3 秋川溪谷観光施設維持管理事業

秋川溪谷に係る観光施設等を維持管理し、観光資源としての継続的な保存や景観整備を図ることができた。また、観光ルートの整備による眺望確保や、訪日外国人旅行者に対応した英語表記による歩行者用誘導標式を設置するなど、より魅力的なルートを整備することができた。

（1）秋川溪谷観光情報コーナーの運営管理

秋川溪谷観光の玄関口であるJR武蔵五日市駅の改札外に観光資源の魅力発信拠点として設置した「秋川溪谷観光情報コーナー」において、観光パンフレット等の配架や秋川溪谷Wi-Fiの提供、デジタルサイネージによる多言語情報の発信を行うことで、外国人観光客の受入れ環境整備を図るとともに、観光ボランティアガイドの活動拠点として活用した。

（2）歩行者用誘導標識の整備

観光客の周遊性向上及び地域の魅力発信を図るため、「秋川溪谷観光用誘導標識整備計画」に基づき、歩行者用誘導標識1基及び広域観光案内看板1基を整備した。英語による案内を併記することで、訪日外国人旅行者への受入れ環境整備を行った。

（3）森林資源を活用した魅力創出事業

ア 戸倉城山景観伐採事業

戸倉城山への登山ルートの景観を確保するため、今年度は景観整理伐(大刈り)と測量・毎木調査を実施した。

イ 石舟橋付近景観整備事業

秋川渓谷に架かる石舟橋周辺の景観を確保するため、秋川右岸側の雑木伐採等の景観整備を実施した。

ウ 高明山登山道沿い園地整備事業

秋川渓谷瀬音の湯から高明山、馬頭刈山への登山ルートの途中にある植林地の景観を確保するため、見通し確保伐、長岳尾根上の登山者の安全・利便性を確保するため階段等の園地整備を実施した。

(4) 観光ルート草刈り等事業

観光遊歩道、観光施設等周辺の除草作業、草刈作業、植栽管理を実施した。

4 観光トイレ維持管理事業

秋川渓谷を訪れた観光客に快適に利用してもらうとともに、観光資源としての継続的な保存を目的として、ハイキングコース上などにある観光トイレの整備及び維持管理を行った。

(1) トイレ整備事業

ア 市内37か所の観光用トイレの維持管理及び清掃を各種団体等に委託して行った。

イ 行楽シーズンにおいて、観光ルート上及び河川沿いに仮設トイレを3基設置した。

ウ 老朽化した施設について改修工事及び補修を行い、観光客の利便性の向上を図った。

(2) トイレ洋式化工事

ユニバーサルデザイン及びインバウンドに向けて、東京都及び東京観光財団の補助金を活用し、12か所のトイレの洋式化工事を行った。

5 秋川流域Eツーリズム推進事業

秋川流域の持続可能な発展(観光振興及び地域活性化)に最も資する枠組みであるとの認識の下、秋川流域3市町村が連携して取り組んできたジオパーク推進事業については、令和元年8月20日に開催した秋川流域ジオパーク推進会議をもって、事業の終了を決定した。

今年度については、事務局で事務を引継ぎ、平成23年からおよそ8年間に渡る事業で蓄積した地域資源に関する情報をとりまとめ、アーカイブ資料として冊子及びデジタルデータを作成した。

(1) 秋川流域ジオパーク推進会議の開催

秋川流域ジオパーク推進会議を開催し、事業の終了について決定した。

開催日	内容
令和元年 8月20日	秋川流域ジオパーク推進会議 1 平成30年度活動報告及び決算報告について 2 秋川流域ジオパーク推進事業の終了と事業の引継ぎについて 3 秋川流域Eツーリズム推進事業について

(2) 秋川流域Eツーリズム推進検討会の開催

秋川流域Eツーリズム推進検討会を開催し、事業の方向性等について検討した。

開催日	内容
令和元年10月24日	秋川流域Eツーリズム推進検討会 1 役員選出 2 今後の事業と長期スケジュールについて

	3 今年度の事業概要・予算について
12月17日	秋川流域Eツーリズム推進検討会 1 今年度の事業スケジュールについて 2 キックオフ事業について 3 視察研修事業について 4 提案イベントについて
令和2年 1月28日	秋川流域Eツーリズム推進検討会 1 キックオフイベントについて 2 次回イベントについて 3 視察研修事業について 4 秋川流域ポータルサイトについて 5 次回検討会の日程について

(3) 秋川流域Eツーリズム・キックオフイベントの開催

開催日	内 容
令和2年 2月 2日	秋川流域Eツーリズム・キックオフイベント 会 場：都立五日市高等学校・視聴覚室 参加者：一般58人（うち五日市高校生徒7人）、運営スタッフ10人 内 容 ・ワールドカフェ「秋川流域の観光まちづくりの可能性」 進行：川嶋直氏（日本環境教育フォーラム） ・講演「アフンの森づくりとツーリズム」 ゲスト：一般財団法人C.W.ニコル・アフンの森財団 事務局長 野口理佐子氏 ・話題提供 東京チェーンソーズ 青木氏、日の出町観光ガイドの会 鎌田氏

(4) 視察研修会の開催

開催日	内 容
令和2年 2月21日	視察研修会 視察先：秩父市 参加者：9人 ヒアリング：一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社（地域連携DMO）事務局長 井上正幸氏

(5) 地域資源等調査委託

調査団体	内 容
秋川流域ジオの会	1 養沢川上流ビリ窪沢に見られる海洋プレート層序に関する調査 2 「五日市-川上構造線」の実態解明を目的とする調査 3 産出化石から推定する中新世に存在した五日市海の古環境に関する調査 4 留原層が堆積した時代の五日市盆地の環境を推定する調査 5 産業遺産「神谷マンガン鉱山」の時代を復元する調査
日の出ジオ研究会	1 羽生溪谷の地質・地形現象に関する調査 2 於奈淵下流域の形成史に関する調査 3 草花丘陵を中心とした地質資源の見どころ調査

(6) 視察対応

他団体からの要請に応じて、視察対応を実施した。

開催日	内 容
令和元年 7月22日	視察対応 内容：地形と川の水の三作用を学ぶ 団体：江戸川区子ども未来館 場所：戸倉しろやまテラス、沢戸橋下

(7) 普及啓発用資料等の作成

- ア 地域資源情報とりまとめデータ「秋川流域たのしむBOOK」を5,000部作成した。
- イ 秋川流域ジオサイトマップの内容を更新し、5,000部増刷した。

(8) 拠点施設「秋川流域ジオ情報室」の運営

「秋川溪谷戸倉体験研修センター」3階にある「秋川流域ジオ情報室」について、昨年度に引き続き非常勤職員を3人雇用し、秋川流域に存在する地域資源を季節ごとに紹介する展示物等の作成と解説を実施するなど来訪者の対応を行った。

年間来室者 5, 115人

6 ふるさと工房運営事業

紙漉き体験や講習会を実施することにより、市の伝統工芸である「軍道紙」の保存伝承及びPRをすることができた。

(1) 小学校体験学習件数 25校(市内4校、市外21校) 1, 332人

(2) 高等学校体験学習件数 1校(都立) 30人

(3) 軍道紙保存会への保存伝承事業委託料 9, 067, 000円

(4) 軍道紙紙漉き講習会の実施

紙漉き体験で半紙やハガキを参加者に作成してもらう講習会を令和2年3月13日に予定していたが、新型コロナ対策のため中止した。

(5) イベントにおけるPR活動

イベント名	開催日
あきる野市産業祭	令和元年11月9日、10日

7 指定管理者による管理

指定管理者の能力を活用し、市民等に対する観光行政サービスの効果及び効率を高めることができた。

(1) 観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	利用者数(人)
秋川橋河川公園	平成29年4月1日～ 令和2年3月31日	一般社団法人 あきる野市観光協会	53, 459
第1水辺公園リバーサイドパークの谷			1, 204
第4水辺公園秋川ふれあいランド			3, 486

(2) 十里木・長岳観光施設

施設名	指定期間	指定管理者	温泉利用者(人)
秋川溪谷瀬音の湯	平成27年4月1日～ 令和2年3月31日	新四季創造株式会社	225, 532

(3) 秋川溪谷戸倉体験研修センター

指定管理委託料	指定期間	指定管理者	利用者数(人)	
21, 990, 000円	平成30年4月1日～ 令和5年3月31日	新四季創造株式会社	体験	1, 075
			宿泊	2, 055
			飲食	11, 969
			研修室	4, 331
			見学等	4, 591